

日本の学者による、中国本土に関する地理
学的研究著書、資料、論文目録

(1935~1950)

社団法人 東京地学会

(1964. 6)

付録1. 朝鮮半島、台灣に関する地理学的研究
論文目録

(1935~1950)

付録2. 中国本土に関し、欧文で発表されたお
もな地理学的著書、論文目録

記

この目録は、東京都立大学（理学部地理学科）教授 保柳睦美君が、昭和38年度文部省科学研究費（各個研究）によつて作成したものである。

しかし、予算の関係からその印刷部数も少なく、ために諸大学の地理学研究室、図書館等へ寄贈した程度にとどまり、個人の要求には応ずることができなかつたという。

この刊行は、東京地学協会がその増刷を援助し、希望者も入手できるように便宜をはかつたものである。

ま　　先　　が　　き

- (1) これは昭和38年度、文部省各個研究費による「朝鮮半島、中国本土、台湾に関する、日本の学者による戦前の地理学的研究成果、資料の蒐集、整理」の仕事の1部をなすものであり、この印刷も研究費の1部によつて行われたものである。
- (2) 中国本土については、戦時中を中心として、非常に多くの地理学的研究や記述が発表された。これらの中には、現在でも研究成果として高く評価されてよいものが、いくつも含まれている。しかし戦後はこういうものも次第に忘れられたり、散逸してしまう傾向にあるので、よいものを発掘して、あとまで残しておきたいことが、この仕事の最も重要なねらいである。
- (3) 上の目的に近づく第1歩として、1935～1950年に発表された著書や論文の目録を作ることにした。1935年はすでに満州事変が起つたあとで、大陸に関する地理学的論文も少しずつ増加してきたときであつたし、1950年以後は数もずつと少なくなつてゐる上に、これらについてはだれでも割合に調べやすいので、期間を便宜的に上記のように区切つた。
- (4) 目録作成の基本方針は、自分自身で現物に当ることができたものに限つたことである。これは1つには私個人の性格にもよるが、一方では戦時中のいろいろな研究論文、著書、資料などの外国（複数）への流出は、現在でも引続いて行われていて、現物の所在も確かめずに、たゞ目録だけを作ることは、次第に意味を失いかけているのが現実の情勢だからである。
- (5) この仕事に専身することができたのは、半年余りのことすぎない。この短い期間に、上方針によつて調査したのであるから、調査対象も、過去において、ごく普通に入手できた書籍や雑誌にとゞめざるを得なかつた。したがつて、めずらしいものや入手困難であつたものは、ほとんど含まれていない。のみならず、終戦前後のときのものについては、諸大学の図書室や図書館にも、現物が揃つていないこともあつて、まだ調査不十分なところもある。
- (6) 私の記憶にとゞまつている論文や資料でも、ここに掲げられているもの以外に、まだいくつもある。これらはその所在が確かめられ次第、だんだんに補充して行きたいと考えている。しかしここに掲げられているものは、その所在がわかつてゐるものであるから、何か必要がある場合には、いつでもその所在をお知らせすることができるし、ものによつてはリコピ―にして差し上げることもできる。

(7) 地理はその学問の性質上、その研究や資料と、他の分野のものとの間に明らかな線を引くことがむずかしい。そこで自然関係では、自然環境という観点を重んじて、例えは余りにも地質学、岩石学、古生物学的なものや、古い時代の地史に重点をおいたものは除いた。

また政治、経済、社会学的研究も、その内容において、土地および地域の性格が濃く浮び上っているものに限ることとした。

(8) これらの著書や論文は、その大部分が戦争中という異状な社会状態のもとで書かれたものであつて、いわば戦時中における応用地理である。したがつて、ものによつては威勢のよい句調が散見されるのも、やむを得ないことであるし、むしろ当時としては当然のことであつた。これは当時の社会を経験された人には、了解されるところであると思う。

しかし応用地理といふものについても、当時はいろいろな考え方があつたことを示した。そして中には、いまの世の中で読んでみると、特殊な議論が指導的論調で展開されていて、あまりにも誤解を招きやすいものもあつた。こういうものは割愛したが、その基準は私の主觀によるものであるから、議論の余地があることであろう。

(9) 目録を一覧して気がつくことは、当時の若い地理学者の手になるものが少ないとある。これは当時の社会情勢による。若い有能な地理学者は々々と応召し、中には不幸にして戦場で散つた人も少なくなかつた。私自身も京城帝大に在職中、戦争末期の40才のときに一兵卒として応召した。当時はそういう世の中であつたのである。

(10) この小さい仕事が、所期の目的に対して、どの程度貢献できたかは疑問であると思う。しかし中国本土の地理に対する関心が少しでもよび覚まされれば、こんなうれしいことはないし、脱落している重要な文献を指摘していたければ、幸いこれに過ぎるものはない。他日、補遺を作る機会を得たいと思っている。

[注] 雑誌名は、なるべく簡略化しなかつた。また雑誌の号数と発行月とが一致するものは発行月を略し、一致しないものだけに発行月を付けた。

目 次

書 籍

著 書

(1) 中国全般	1
(2) 满州関係	5
(3) 華北・華中・華南関係	7
(4) 蒙古・辺疆関係	10
(5) 地理構座・地誌類	13

訳 本

(1) 地理・紀行類	15
(2) 住民・経済・社会関係 (中国文の著書から)	17
(3) 住民・経済・社会関係 (欧文の著書から)	19

論 文

中国本土全般

(1) 自然関係	24
(2) 人口・民族・集落	27
(3) 土地利用・経済・交通	30
(4) 歴史地理・その他	33

满 州

(1) 自然関係 (a) 全 般	36
(2) 自然関係 (b) 地 方	38
(3) 住民・都市・村落	41

(4) 土地利用・経済・交通	43
(5) 地方誌	46
(6) 紀行・その他	47

華 北

(1) 自然関係 (a) 全般	49
(2) 自然関係 (b) 黄河および華北平野	50
(3) 自然関係 (c) 黄土地帯その他	53
(4) 土地利用・経済・交通	54
(5) 山西省に関するもの	56
(6) 諸地方の経済・交通・都市	58
(7) 地方誌・紀行・その他	60

華中・華南

(1) 自然関係	62
(2) 土地利用・経済・交通	63
(3) 諸地方の経済・交通・集落	64
(4) 地方誌・その他	67

蒙古・辺疆

(1) 自然関係 (a) 主として内蒙古	68
(2) 自然関係 (b) 主として辺疆	70
(3) 内蒙古の住民・土地利用・経済 (付) 包頭付近の調査	72
(4) 辺疆の経済・地方誌・その他	75

付録 1. 朝鮮半島・台湾に関する地理学

的研究論文目録 (1935~1950)	78
---------------------------	----

付録 2. 中国本土に関し、欧文で発表された

おもな地理学的著書、論文目録 (1935~1950)	87
----------------------------------	----

書籍 (A)

I 著書 (資料を含む)

(1) 中国全般(東亜関係を含む)

人口問題研究会 支那人口問題研究(人問題資料第16輯)、刀江書院 1935.12.A5版、219ページ。

1. 支那人口思想、2. 支那歴朝の人口統計、3. 人口問題の一現象としての支那歴史、4. 支那人口構成、5. 支那人口と来住、移住、6. 支那に於ける過剰人口、7. 支那人口問題対策、付、参考資料。

企画院 華僑の研究、松山房、1939.10.A5版、407ページ。

渡辺光編 支那地理大系、自然環境篇、日本評論社、1940.10.A5版、489ページ。

渡辺光：支那の地形、花井重次：蒙古の地質と地形、服部信彦：西北地区辺境の地形、福井英一郎：支那の気候、多田文男：支那の土壤、鹿野忠雄：支那の諸民族、吉村信吉：揚子江河川誌、吉村信吉：東支那海海洋誌、坪谷幸六：支那の鉱物資源。

池田静夫 支那水利地理史研究、生活社、1940.4.A5版、341ページ。

1. クリークの意義、2. クリークの発達、3. 運河の都—杭州、4. 杭州運河の整理、5. 杭州と両浙運河、6. 海港としての杭州、7. 杭州の碼頭及び碼頭市、8. 杭州と支那近世の文化、9. 新支那の建設と運河問題。

旗田巍 支那民族発展史、博文館、1941.2.B6版 358ページ。

- I 古代 (1. 民族と政府、2. 社会経済、3. 文化)
- II 中世 (1. 専制王朝の興亡と漢族の発展、2. 社会経済の発展、3. 支那文化の発達)

石川正義 支那の農業(東亜新書)、中央公論社、1941.10.B6版、114ページ。

- I 地形、主たる農業区域、II 気候を主たる条件とする地域的類型、その耕作様式、社会的意義。

尾崎 庄太郎 支那工業の発達（東亜新書）中央公論者、1941.6.B6版、150ページ。

1. 支那近代工業発生過程の概況
2. 支那の初期資本主義工業
3. 支那近代工場工業の発展。

中村左衛門太郎 東亜気象学、垣星社、1941.6.A5版、263ページ、特に東亜の気象を説いたものでなく、気象学教科書の内容に、東亜の例を取り入れたもの。

荒川秀俊 大東亜の気候（朝日新選書）朝日新聞社、1942.3小B6版、199ページ。

吾孫子豊 支那鉄道史、生活社、1942.3.B6版、279ページ。

山崎百治 支那物産総覧、栗田書店、1942.3.B5版、500ページ、付図4。

I 農産類（米稻・麦・豆・雜糧・蔬菜・根莖・諸粉・果品・甘蔗・植物油脂・油餅・含油種子・糸・繭・蚕種・棉花・木棉・蔬・菸葉・染料・蜜・蠟・藥材・香油・菰簾・木耳・農産雜種・概括）

II 畜產物（禽・獸・獸肉・臘・皮革・毛皮・毛絨・鬃髮・蛋・乳・動物油・藥物・畜產雜種・概括）

III 水產物（魚・海魚・蝦蟹・貝介・參翅・海味・魚油・水產雜種・概括）

IV 林產物（種子・苗種・木材・板・柴・炭・筍・竹・箬・藤・棕・脂油・乾果・林產雜種・概括）

V 礦產物（金属・非金属・煤・煤油・塩・硝・磷・天然鹼・藥石・化石・概括）

VI 製造品類（糸織物・棉・蘿織物・毛織物・禽獸製品・紗・線・服飾品・巾・帽・帳・袋・食品・醸酵製品・酒・糖・煙・茶・花乾・陶器・玻璃・搪瓷・景泰藍・水泥・石灰・竹・木・藤・草製品・傘・蓆・扇・紙・書籍・文具・運動用具・膠・漆・皮革製品・賽璐・化學製品・化粧用品・火柴・香・燭・花燐・機械・器具・金屬製品・工芸品・飾玩品・医藥用品・製造品雜種・概括）

VII 総括（付録）各省概況

井出季利太 華僑、大興商会、1942.6.B版、362ページ。

横尾安夫 東亜の民族、理想社、1942.10.B6版、478ページ。

田辺勝正 支那の農業經濟 日本評論社 1942.1.B 6版 345ページ。

井坂錦江 東亜物産史 大東出版社 1943.7.A 5版 336ページ。

1. 古代支那の物産誌
2. 上古秦漢時代の物産
3. 訓古字典と本草第1版
4. 内外物産の交流
5. 隋唐時代の物産
6. 日本古代の物産誌
7. 宋元代の物産と南洋、日本との交流
8. 明清代の物産と南洋、日本との交流
9. 近世日本の物産と対外貿易品
10. 東亜近代物産の変遷（別録 1. 家畜類、2. 野獸類、3. 家禽類、4. 野禽類、5. 海獸類、6. 魚介類其他、7. 爬虫類、両種類其他、8. 伝説上の動物）

井坂錦江 支那民族生活史 日本評論社 1943.6.A 5版 245ページ。

1. 太古代
2. 夏、殷、周時代
3. 秦、漢時代
4. 三国、南北朝時代
5. 隋、唐時代（付）詩經にあらわれた支那民族との生活。

藤田元春 上代日支交通史の研究 刀江書院 1943.9.A 5版 455ページ。

1. 序説（八洲六島と古代航路）
2. 山海經に記されたる倭國
3. 漢書地理志に記されたる日本の国名
4. 後漢書の倭奴國
5. 魏志倭人伝の道里
6. 隋書倭國伝批判
7. 伊吉博徳の書
8. 東亜海路の発展
9. 遣唐使の航路と海外知識
10. 宋代の交通
11. 我国最古の船法度
12. 船法度とその貿易品（付）日鮮交通と古代の信仰

小竹文夫 支那の自然と文化 弘文堂 1947.6.小B 6版 129ページ。

1. 支那に於ける自然の特性
2. 支那の自然と経済
3. 支那の自然と政治
4. 支那の自然と社会
5. 支那の自然と文化

東京地学協会 地学雑誌 支那号 第1～第21合本 (1938～1943)

総数56篇の論文が含まれる。いずれも学究的なものであるが、地質学的論文が最も多い。これらの中で地理学に関係が深いものをあげる。

岡田武松：支那の気候（支那号第1. 1938.9.）、山根新次：中北支の地質と地下富源（第1）、大村一藏：北支の石油事情（第1）、小山一郎：支那の金属鉱業（支那号第2. 1938.11.）寺尾博：北支の農業地理（第2）、鳥山喜一：黄河の変遷（第2）、井上禧之助：支那に於ける炭田の地質及炭量の概要（支那号第3. 1939.1.）、小林儀一郎：巴蜀盆地（第3）、田中啓爾：支那の地域区分（支那号第4. 1939.2.）、石田竜次郎：支那の人口、都市工業化（第4）、辻村太郎：支那の地形並に景観（支那号5. 1939.5.）多

田文男：蒙疆の地理（第 5）、小林儀一郎：四川省の石油（第 5）、大塚弥之助：北西蒙古の地質構造の知識（支那号第 7. 1940. 1.）松沢勲：四川省の地質と鉱産（支那号第 8. 1940. 5.）、大塚弥之助：蒙疆大同市東南の第 4 紀火山の地質時代に就いて（支那号第 9. 1940. 10.）、佐藤敬二：北支、蒙疆の造林（支那号第 10. 1940. 12.）、高木菊三郎：支那地図概観（第 10）、多田文男：黄土の分布と成因に関する諸説（支那号第 11. 1941. 3.）、保柳睦美：北支、内蒙古の気候変化並に沙漠拡大に関する從来の研究（第 11.）、吉村信吉：支那の湖沼（支那号第 13. 1941. 9.）、村松繁樹：支那の交通（支那号第 14. 1941. 12.）石井清彦：海南島の地質、鉱産（支那号第 15. 1942. 2.）多田文男：内蒙古渾善達克砂丘地帯の地理学的調査（第 15.）、大塚弥之助：渾善達克沙漠の地質略報（第 15.）、渡辺光：中南支那東部の地形（支那号第 16. 1942. 4.）上田信三：支那の総人口（支那号第 19. 1942. 12.）、木内信藏：北支山西省の人口及び土地利用問題（支那号第 20. 1943. 4.）、細野実抄訳：支那に於ける更新世水河現象（ウイスマン）（第 20.）、多田文男：山西省における乾燥度と内陸盆地群（支那号第 21. 1943. 5.）。

中央気象台（東亜研究所）、東亜気象資料、第 1 卷、支那の部、第 3 卷、満州篇、B 5 版。

東亜研究所は、当時の国策の樹立、遂行に対して、資料を提供する財團法人の調査研究概要で、多くの種類の報告書や訳本を出していた。これらはどういう方面へ配布されたのかわからないが、（恐らく旧制帝国大学の図書館には寄贈されていたものであろう）、ごく平凡な訳本類を除いては、その多くが國の取扱いになつていて、個人では容易に入手できなかつた。しかし東亜気象資料は、東亜研究所第 7 調査委員会から、中央気象台へ編集を委嘱されたものではじめは中央気象台から発刊されていたせいか、割合に目につきやすかつた。これは非常に大部のもので、次の 6 卷からなり、それぞれの内容には、I 累年平均、II 各年各月気象表が編集されている。

第 1 卷、支那の部（1941. 11. 603 ページ。説明、図版、86 ページ）。

第 2 卷、ヒリツピン、仏領印度支那、泰、ビルマ、マレー、印度編（1941. 11. 575 ページ）。第 3 卷、蘭領東印度及濠州編（1941. 12. 543 ページ。）

第 4 卷、シベリヤ編（1942. 1. 533 ページ。説明、図 57 ページ）。

第 5 卷、満州編（1942. 2. 474 ページ。）第 6 卷、本邦編（1942. 2. 内南洋編、本編、319 ページ、図 27 ページ。）

(2) 満州関係

多田文男 热河の地理(第1次満蒙学術調査研究團報告、第3部)、早稻田大学内、同研究團、1937.1.B5版、132ページ、図60。

- I 热河地方の地形学的研究 (1. 热河地方の切妻面並に山地区分、2. 切谷面の性質並に热河地方の切谷面、3. 起伏量の性質並に热河地方の起伏量、4. 热河地方の削剥面並に地形発達史、5. 山頂の高度と起伏量との関係を基礎として知り得た热河山地の発達度。)

II 满蒙交界地方としての热河——人文地理資料——

岩瀬弘一郎 满州地名の研究、古今書院、1938.10小B6版、297ページ。

1. 緒言、2. 满州の略歴、3. 满州における民族及び分布状態、言語、4. 满州地名の総括的意義考察、5. 主要地名の意義考察、結言。

尾崎西郷 满州の人口問題、满鉄調査資料第1篇、1939.11.A5版、364ページ。

遠藤隆次 改訂増補、满州の地質及鉱産、三省堂、1939.12.A5版、240ページ、地図2

1. 满州に於ける地質研究の歴史、2. 地形、3. 地体構造論、4. 地質時代区分表、5. 地質、6. 满州に於ける火山活動、7. 対化の問題、8. 地殻変動史、(付) 文献。

满鉄、北滿経済調査所 满州の探検と鉱業の歴史、(アーネルト博士執筆) 学芸社、興亜書院、

1939.10.A5版、571ページ、付図1冊。

- 序論(満州史概観) 1. 第18世紀の特別旅行その他の旅行時代以前におけるこの国に関する知識の普及、2. 非アジア人旅行者の調査旅行、3. 支那調査機関の委嘱による旅行、4. 日本または满州国の機関によつて、日本人によつて行われた探検旅行および個々の地方の調査、满州鉱業史、(付) 满州の探検及鉱物資源地図帳。

島之夫 满州国民屋地理、古今書院、1940.7.A5版、183ページ。

- I 序説、II 風土と家屋との関係、III 住民と家屋との関係、IV 結語。

官川善造 人口統計より見たる满州国の縁族(民族)複合状態、建国大学研究院、1940.12.A5版、150ページ、地図12統計表50。

- I 全国篇(問題と前提、縁族別人口統計、諸縁族の人口分布、縁族複合の静態、縁族複合の動態、居住地域の拡大、諸縁族の人口増加、複合状態の形成

力、国民の縁族的構成と編成)

Ⅱ 都会篇(都会の概観、都会の複合度と複合率、都会の複合型、都会人口と全国人口)。

米内山 康夫 蒙古草原、改造社、1941.1.A5版、本文233ページ、写真図版、198。

I ホロンバイル(草原、蒙古の春、湖と河、生物、気象、砂丘、遺跡と遺物、民族、草原の生活、オボ及オボ祭、ラマ及ラマ廟、草原繁昌記、家畜)。

II 大興安嶺(森林民族、トングース、ロシア人部落)。

増田忠雄 满州国境問題(東亜新書)、中央公論社、1941.8.B6版、133ページ。

1. 結言、2. 西北部国境、3. 北部国境、4. 東部国境、5. 結論。

満鉄弘報課 東隣紀行、満州、大連日日新聞社、1942.2.B6版、402ページ。

1. 間宮林藏の黒竜江探検記、2. 最上徳内の蠻夷地開拓、3. ネヴエリヌイのアムール開拓記。

村越信夫 满州農業の自然環境、中央公論社、1942.6.B6版、86ページ。

村田治郎 满州の史蹟、座右宝刊行会、1944.5.B6版、529ページ、図版100。

I 概説篇、II 各説篇。

満州事情案内所刊行書 A5版。

満州事情案内所は、1933年、満州内の諸機関の後援による満州経済事情案内所として出発し、満州経済事情の調査、紹介をおもな仕事としていたが、最後には満州国政府特設機関となつて、多くの資料を刊行発売していた。しかし、その初期の刊行物は、早く、絶版あるいは品切れとなつていた。地理に關係が深く、割合に入手し易かつたものの中から、やゝ部厚なもの(100ページ以上のもの)だけを掲げる。

満州国の現住民族(1938.108ページ)、満州地名考(1940.250ページ)、満州の物産(1939.330ページ)、満州国各県事情(1939.440ページ)、満州土地事情(1939.170ページ)、満州工業事情(1940.150ページ)、満州農業概要(1940.130ページ)、満州河川誌(1940.350ページ)、満州国地方誌(1941.650ページ)、満州の資源(1941.400ページ)、近世満州開拓史(1941.120ページ)、満州關係資料集成(1939.770ページ)。

(3) 華北、華中、華南關係

満鉄資料課 北支事情綜覽（満鉄調査資料、167）南滿州鉄道会社、1935.A5版392ページ、1. 緒言、2. 地理、3. 交通、4. 社会（1）、5. 社会（2）、6. 政治、7. 財政、8. 金融（1）、9. 金融（2）、10. 産業、11. 資源、12. 貿易、13. 列国の利権、14. 結論。

山田邦彦（遺稿）揚子江上流地方調査日誌、（付）写真集、東京地学協会、1936.A5版、160ページ。

梨本祐平 北支の農業經濟、白揚社、1939.3.A5版、322ページ。

1. 序説、2. 土地所有關係の検討、3. 租税負担の分折、4. 商業、高利貸資本の收取、5. 労働力の生産性、6. 農業技術の停滞性、7. 農作物の需給關係と編成、8. 農家經濟と副業、9. 農業に於ける銀行資本の機能、10. 農村合作社の地位、（付）郷村建設運動。

川俣芳平 川湘公路、生活社、1940.3.A5版、243ページ。（長沙、重慶間の公路の状況を説明したもの）

福田秀夫 横田周平、黄河治水に関する資料、コロナ社、1941.9.A5版、323ページ。

1. 黄河の概況、2. 国際連盟の報告、3. フリーマン氏の報告、4. トットド及びエリヤツセン両氏の報告、5. 黄河洪水の歴史、6. 黄河流域の雨量、7. 支那の河川工事の用語、8. エンゲルス氏の実験。

和田保 水を中心として見たる北支那の農業、成美堂、1942.10.A5版、262ページ、1. 北支那農業の自然環境、2. 北支那農業と灌溉、3. 灌溉排水の効果とその方法の研討、4. 農業水利改善の将来。

宮本敏行 山西學術紀行、新紀元社、1942.12.B6版、289ページ。

満鉄調査部 北支那の農業と経済、（上）、（下）、日本評論社1942.10.11.A5版、上巻（1～326ページ）。

I 北支那農業の自然的技術的基礎（1. 農業生産の自然的基礎、2. 農業生産の技術的基礎、3. 農業生産の地域的特相）、下巻（329～903ページ）。

Ⅰ 北支那農業の社会的、経済的特質（1. 農地関係の特質、2. 農村に於ける流通、取引関係とその発展。）

Ⅱ 北支那の農業經營並に農家經濟の特質（1. 農業經營に関する一考察、2. 農家經濟の特徴。）

Ⅲ 北支那の畜産經濟（1. 農業に於ける家畜の地位、2. 農業經營に於ける家畜の役割、3. 家畜及び畜産物の流通取引事情。）

村上捨己 北支農業經濟論—特に棉花生産と合作社の問題を中心として—。日光書院、1942.5.A5版、361ページ。

松本洪 上代北支那の森林。帝国治山治水協會、1942.7.A5版、251ページ。

I 総論、II 林政より観たる林相、III 文字より見たる林相、IV 古書に記されたる林相。

小野勝年 日比野丈夫、五台山、座右宝刊行会、1942.10.A5版、368ページ、地図2
五台山—その歴史と現状、五台山紀行、入唐求法巡礼行記「五台山之巻」訳註。（付録）五台山関係文献目録、台中所見碑目。

満鉄調査部 北支商品綜覽、日本評論社、1943.2.A5版、568ページ。

I 石油流通事情（1. 支那の石油概況、2. 北支那石油需給状況、3. 北支ペンゾール概況。）

II 燃寸流通事情。（1. 総論、2. 北支に於ける燃寸事情、3. 地方別燃寸需給状況。）

III 葉煙草流通事情（1. 北支葉煙草需給状況、2. 山東者に於ける米種葉煙草。）

IV 木材流通事情（1. 事變前後に於ける木材需給概況、2. 北支木材事情、3. 流通事情、4. 價格。）

V 硫安流通事情。

VI 護謨製品流通事情（1. 沿革、2. 北支に於ける需給状況、3. 北支に於ける消費事情、4. 取引事情、5. 北支に於ける重要市場、6. 北支に於ける市価、7. 海關稅率改正と護謨製品工業に及ぼせる影響。）結言。

満鉄調査部 中支の民船業—蘇州民船実態調査報告—博文館、1943.3.A5版、363ページ。（付）調査表。

1. 民船の構造。2. 民船の労働。3. 民船の所有関係。4. 民船の経営。
5. 民船による商品流通事情。6. 船行、運輸公司その他。

山西学術調査団 山西学術探検記、朝日新聞社、1943.4.B6版、265ページ。

序（土岐章） 烏（清棲幸保）、昆虫（安松京三）、植物（館脇操）、地質（松下進）、地理（多田文男）、人類（谷口虎年）、民具（染木照）、第1次山西学術調査団の編成及行程（宮本敏行）。

東亜研究所

第2調査（黄河）委員会総合報告書（資料甲、第26号B）國印刷局、1944.6.B5版、733ページ。

東亜研究所第2調査委員会は、黄河の治水、利水に関する事項を調査研究した委員会で、記録によるとこの会だからでも190種以上の中間報告が出されたことになつてゐる。これらは当時でも入手できなかつたが、この報告書は、この委員会の仕事をまとめたものであるといふ。

< 総論 >

1. 黄河の特性、2. 黄河の変遷、3. 黄河地域の開発、4. 流路の決定
5. 濟南流路の状況、6. 最大流量の決定、7. 治水計画、8. 利水計画、9. 結語並附記

< 各論 >

I. 黄河治水の政治経済に関する調査

結言、1. 黄河河道の変遷並に治水事業に関する歴史的考察、2. 黄河河道の決定に関する政治経済的考察、3. 黄河河道を中心とする経済地域の基礎的考察

II. 黄河治水及水運に関する調査、(1) 黄河の治水に関する調査。

1. 緒言、2. 流路、3. 流域、4. 河道の変遷、5. 水文及水理調査、6. 水利及水運、7. 水害、8. 治水計画上重要な区域の現況、9. 黄河治水に対する一般的の考察、10. 計画高水流量の決定、11. 治水計画各論、12. 改修工事費、13. 実施の方法、14. 結論。

(2) 黄河の水運に関する調査

1. 緒言、2. 黄河を中心とする内河水運の現況、3. 国内交通網中に於ける内河水運の役割、4. 内河水運の基本的条件、5. 黄河を中心とする内河水運整備計画、6. 要旨。

III. 黄河水力発電に関する調査

1. 序論、2. 黄河水力発電計画、3. 永定河への流域変更の水力計画、
4. 黄河の流量及気象に就て、5. 地質、6. 水力計画に関連する黄土の問題、
7. 資材並に労力に就て、8. 治水及び利水上の効果に就て、9. 電力輸送並に電力供給による資源開発に就て。

IV 黄河流域の農林業及水産に關する調査、(1) 黄河流域の農業に關する調査。

- 緒言、1. 緒論、2. 黄河の沿革、3. 黄河流域地帯に於ける農業状態、
4. 農業土木より觀たる黄河流域地帯に於ける現状、5. 黄河流域に於ける土地改良計画、6. 結論。

(2) 黄河の林業に關する調査

1. 黄河氾濫の原因、2. 森林分布の状況と造林の現況、3. 森林治水の必要、
4. 森林治水対策、5. 結論。

(3) 黄河の水産に關する調査

1. 水産上より見たる黄河の概況、2. 黄河水系の漁業、3. 黄河水系に於ける水産増殖事業、4. 結論。

V 黄河流域の気象に關する調査

1. 気象關係。(付) 第2調査委員会中間報告一覽表。

(4) 蒙古、辺疆關係

大谷家蔵版 新西域記、(上)(下)、有光社、1937.4大版(新聞紙半裁版) 895

ページ、写真、図版多数 上巻(1~438ページ。)

バミール紀行(序論)、入新疆日記(本多惠隆)、タシユクルガン通信(渡辺哲信)、ギルギット通信(本多惠隆)、スリナガル通信(本多惠隆)、スリナガル通信(井上弘円)、印度紀行(上原芳太郎)、錫蘭帶在小記(島地大等)、尼波羅探検日記抄(清水黙爾)、尼波羅通信(島地大等)、孟買通信(藤井宣正)、竜樹天親両菩薩遺跡探査(和氣善巧)、竜樹菩薩遺跡探査(青木文教)、緬甸より雲南へ(前田徳水)、雲南紀行(前田徳水)、大峨眉山紀行(前田徳水)、石經山紀行(上原芳太郎)、善導大師の遺跡に就いて(大谷光端貌下)、長安発碑記(渡辺哲信)、唐の諸陵墓を探る(隨員)、乾陵の探査(隨員)、尊由連枝達頼喇嘛と会見す(堀賢雄)、西藏入国記(青木文教)、印度隨遊旅記(足利端義)、印度隨遊小記(柱本瑞俊)、釈尊入滅の拘尸那羅の遺跡に就いて(青木文教)、中央亞細亞探検記(渡辺哲信)。

西域旅行日記（渡辺哲信）一序巻、1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 西域大流沙の話。

下巻（439—818ページ、補遺、付録、77ページ。）

蒙古新疆旅行日記（野村栄三郎）、支那紀行（吉川小一郎、巻1. 2. 3. 4. 5. 6. 天山紀行）、新疆通信抄（橘瑞超）、中亞探検（橘瑞超）、新疆探検記（橘瑞超）、補遺、緬甸より蘭州に至る旅程表（補遺1）（渡辺哲乗）、北京より喀什噶爾に至る里程表（補遺2.）（堀賢雄）、付録1. 中亞探検（羽田亨）、西本願寺の発掘物（内藤虎次郎）、付録2. 朝鮮総督府博物館中央亞細亞発掘品目録、関東庁博物館大谷家出品目録。

善隣協会調査部 蒙古大観、改造社、1938.10.A5版、635ページ。

序論、総論（1. 基本事象、2. 民族、3. 文化、4. 蒙古畜産概論、5. 蒙古の国際的地位）

各論（1. 满州国領内蒙古、2. 蒙疆地区、3. 西蒙古、4. 蒙古人民共和国、5. ブリアート蒙古、6. トウワ人民共和国、7. オイラート自治州、8. カルムツク自治州）、付録。

京城帝大大陸文化研究会 蒙疆の自然と文化（京城帝大蒙疆学術探検隊報告書。）古今書院。

1939.6.B5版、316ページ、写真図版、55

（特に地理に関係が深い論文）

多田文男：地理学的に見た内蒙古、波多江信広：蒙疆の地質と地下資源、森為三：蒙疆地方の動植物。

興亜院 蒙疆に於ける土地改良に関する調査、（興技調査資料53号）附、1940.9.
B6版、565ページ。

（これは戦時中にできた機関の調査報告書の1例である。こういうものが、当時の国内および現地のいろいろな機関から発行されたものと思われる。しかし附であつたがために、われわれの手には入らなかつたのみならず、戦後にはかえつて国外へ流出したもののが多かつたことゝ想像される。）

蒙古善隣協会 内陸アジア、第I輯、第II輯、生活社、A5版。
(おもな地理学的論文) I 1941.6.334ページ。

後藤富男：牧農接壤地帯に於ける蒙古人の生活、菊地杜夫：オルドス漢人植民史（俊套篇）、今村鴻明：蒙疆地域に於ける都市の成立について、倉田徹：张家口・庫倫貿易、ラチモア：蒙古草原史の展開。

II 1942.9.290 ページ。

今村鴻明：張家口の研究。後藤十三男：草地に於ける支那商人。グルナール
：高アジアと蒙古——地理概説。

東亞考古学会蒙古調査班 蒙古高原横断記、日光書院、1941.9.A5版、318ページ。

1. シリンゴル紀行、2. ウラン・チャツブ紀行、3. 蒙古雜記（松沢勲：
地文学的に見た蒙古高原、赤堀英三：満蒙支の原人層に就いて、赤堀英三：蒙
古高原の古代人骨、江上波夫：内蒙古高原の生活、横尾安夫：内蒙古の人々、
竹内幾之助：蒙古の言語に就いて、竹内幾之助：蒙古の宗教に就いて）

平 松 幸 彦 蒙古（アルス文化叢書）、アルス、1942.6.B6版、95ページ。

（主として写真）

後 藤 十三雄 蒙古の遊牧社会、生活社、1942.12.A5版、301ページ。

1. 遊牧民、2. 内蒙古の牧業、3. 内蒙古の牧民社会、4. 遊牧の生活、
5. オボ、ラマ教、蒙古人、6. 草地に進出する支那商業資本、7. 漢人の蒙
古地植民。

保 田 与重郎 蒙疆、生活社、1943.4.B6版、237ページ。

保 柳 瞳 美 北支・蒙古の地理——乾燥アジアの地理学的諸問題——、古今書院、1943.
6.A5版、276ページ。

支那の天災、支那の気候資料、北支の黄土とその生成について、北支平野の
生成に関する諸問題、山西農業の自然環境、ロブ・ノールの変遷、塔里木盆地
に於ける有史以来の気候変化に関する諸説、北支・内蒙古の気候乾燥化並びに
沙漠拡大に関する従来の研究、北支・蒙疆の気候変化と年輪分析、内部アジア
における砂丘の襲来について、ゴビ沙漠の探検。

沢 寿 次 ゴビ沙漠探検行、（東大学術調査団）、東雲堂、1943.7.B6版、246ページ。

ゴビ沙漠学術探検隊 ゴビの沙漠、目黒書店、1943.9.B5版、191ページ。（写真集）

(5) 地理講座、地誌類

河出書房版 満州（世界地理、第2巻）、1941.4.A5版、385ページ。

松沢勲：満州の地形と地質、遠藤隆次：満州の鉱物資源、草光繁：満州の気候、稻荷山資生：満州の植物、牛山喜：南滿、田口稔：北滿、牛山喜：北滿の農業、河田喜代助：熱河の人文地誌、岩田孝三：興安及び黒河、武見芳二：東辺道、石田竜次郎：満州の地理的意義。

河出書房版 支那I 北支（世界地理、第3巻）、1940.1.A5版、428ページ。

佐藤弘：地理的意義、渡辺光：地形、地質、脇水鉄五郎：支那の黃土、福井英一郎：北支那の気候、西山栄久：陝甘地方、保柳睦美：山西台地、武見芳二：北支平野、田中館秀三：山東省。

河出書房版 支那II 中南支（世界地理、第4巻）、1940.8.A5版、388ページ。

内田寛一：中南支の意義、渡辺光：地形、地質、福井英一郎：中南支の気候、上田信三：揚子江三角州、西山栄久：揚子江下流、村松繁樹：湖広盆地、北田宏藏：四川盆地、田中啓爾：閩粵地方、岩田孝三：雲貴高原、井上修次：海南島。

河出書房版 支那III 辺疆（世界地理、第5巻）、1941.2.A5版、371ページ。

武見芳二：支那辺疆の地理的意義、花井重次：蒙古の地質及び地体構造、福井英一郎：支那辺疆地方の気候、多田文男：蒙疆地方の地形、保柳睦美：蒙疆地方の人文地誌、池田正友：蒙古人民共和国、服部信彦：タリム盆地、渡辺光：ゾンガリアとクルヂヤ、村松繁樹：西海省、村松繁樹：西康省、綿貫勇彦、池田正友：西藏、出石誠彦：支那文化小史。

(付) 上田信三：支那地理研究資料目録。

東亜同文会

新修、支那省別全誌、丸善、A5版。

第1巻 四川省(上) 1941.8. (970ページ)

第2巻 四川省(下) 1941.8. (707ページ)

第3巻 雲南省 1942.8. (1,240ページ)

第4巻 貴州省(上) 1943.3. (982ページ)

第5巻 貴州省(下) 1943.10. (619ページ)

第6巻 陝西省 1943.6. (1,280ページ)

第7卷 甘肃省、寧夏省 1943.12. (940ページ)

第8卷 新疆省 1944.6. (888ページ)

第9卷 青海、西康省 1946.9. (1,055ページ)

(これは、1917—1920に発刊された支那省別全誌、18巻の新編であるが、

終戦後第9巻が出たまで終つたのは、惜しいことである。)

山岡部隊本部 山西省大觀、生活社、A5版。

第3巻、1941.5. (380ページ)、第4巻、1942.2. (362ページ)

第6巻、1944.6. (313ページ)

書籍 (B)

Ⅱ 訳本

(訳注本を含む)

(1) 地理、紀行類

足立喜六著 考証、法顯伝、三省堂、1936.A5版、279ページ、付図6。

足立喜六著 大唐西域記の研究、(上)、(下)、法藏館、A5版、(上)1937.575ページ、付図6。(下)1937.560ページ、付図1。

陳慶雅著 井上、武田訳、支那邊境視察記、改造社、1937.B6版、496ページ。

ブルデエヴァルスキー著 高橋、田村、谷訳、蒙古と青海(上)(下)生活社、1939A5版、各400ページ。

(Prjevalsky, N M :Mongolia, the Tangul Country, and the Solitudes of Northern Tibet, 1876, — edited by Henry Yule.)

ユック著 後藤、川上訳、韃靼・西藏・支那記行記、(上)、(下)生活社、1939.A5版、各400ページ。

(Huc, M :Travels in Tartary, Thibet and China during the years 1844—46, translated from the French, 2Vols. London.)

スタイン著 風間太郎訳、中央アジア踏査記、生活社、1939.B6版、321ページ、63図。
(Stein, A. :On Ancient Central-Asian Tracks. London, 1933)

クレッサー著 三好武二訳、支那の土地と人、偕成社、1940.B6版。

高垣勲次郎訳、支那風土記、東方文化学会、1941.B6版。

(Cressey, G. B. :China's Geographic Foundations. New York, 1934.)

セア 著 後藤富男訳、農業支那と遊牧民族、生活社、1940.A5版、208ページ。
(Lattimore, O. : 1. The Geographical Factor in
Mongol History, 1938. 2. The Historical Setting
of Inner Mongolia, 1936. 3. On The Wickedness
of being Nomads, 1935. 4. Origin of the Great
Wall of China, 1937. 5. Caravan Routes of Inner
Asia, 1928. 6. Greater China, 1939.)

ソープ 著 伊藤、保柳、上田、原田訳、支那土壤地理学——分類、分布、文化的意義——
(東亜研究叢書、4.)、岩波書店、1940.A5版、485ページ。
(Thorp, J. : Geography of the Soils of China.
Nanking, 1936, Peking, 1939.)

アンダーソン著 松崎寿和訳、黃土地帶——北支那の自然科学とその文化——、座右宝刊行会、
1942.B6版、474ページ。
(Andersson, J. G. : Children of the Yellow Earth,
Studies in Prehistoric China, London, 1934.)

リヒトホーフエン著 望月、佐藤訳、支那 I 支那と中央アジア、(東亜研究叢書、14.) 岩
波書店、1942.A5版、411ページ。
能 登志雄訳、支那 V 西南支那、(東亜研究叢書、18.) 岩波書店、
1943.A5版、511ページ。
(von Richthofen, F. : China. Ergebnisse eigener
Reisen und darauf gegründeter Studien, 5Bde, のうち
I 第1編、1877および II 第1編、1912の訳)

リヒトホーフエン著 海老原正雄訳、支那旅行日記(上)、慶應書房、1943.A5版、422ページ。
(Baron Richthofen's Letters, 1870—1872. Shanghai,
1903.)

ヘイン著 関田久尾訳、ゴビ沙漠横断記、鎌倉書房、1942.B6版、570ページ。
(Hedin, S. : Across the Gobi Desert, London, 1931.)

- ヘデイン著 福迫勇雄訳、ゴビの謎、生活社、1942.A5版。
(Hedin, S.; Riddles of the Gobi Desert. London, 1933.)
- バクストン著 岡崎三郎訳、支那、中央公論社、1943.A5版、430ページ。
(Buxton, L. H. D.; China, the Land and the People: A Human Geography. Oxford, 1929.)
- マクガヴァン著 妹尾韶夫訳、ちべつと紀行、西東社、1943.A5版、336ページ。
- ヘデイン著 崎村、矢崎訳、彷徨へる湖、筑摩書房、1943.A5版、355ページ。
(Hedin, S.; The Wandering Lake. London, 1940.)
- 米内山 庸夫著 入蜀記(入蜀記、吳船録、棧雲峽雨日記)、大阪屋号、1944.A5版、387ページ。
- ウイリス 著 坂本峻雄訳、支那地史の研究、(上) (東亞研究叢書、11.) 岩波書店、1944.A5版、542ページ。
(Willis, B. and Blackwelder, E.; Researches in China, Washington, 1907.)
- ダイクマン著 神近市子訳、トルキスタンへの旅、岩波新書、1940.
- ハズルンド著 内藤岩雄訳、蒙古の族、(上) (下)、岩波新書、1942.
- グルーシャコフ著 西尾、西沢訳、支那の経済地理、岩波新書、1941.

(2) 住民、経済、社会関係
(中国文の著者から)

劉大鈞著 倉持博訳、支那工業論——上海工業の発展——、生活社、1938.A5版、470ページ。

劉雲持著 川崎正雄訳、支那救荒史、生活社、1939.A5版、333ページ。

- 王泰吉著 平田泰吉訳、支那商業史、生活社、1939.A5版、317ページ。
- 北支開發会社調査課 支那の水利問題、(上) (下)、生活社、1939.A5版。
- 上巻、316ページ、李書田：支那水利問題概論、徐世大：北支水利問題、
張含英：黄河問題、李儀祉：西北水利問題。
- 下巻、311ページ、須愷：準淮問題、宋希尚：揚子江水利問題、孫輔正：
太湖流域水利問題、汪胡楨：運河整理問題、黃謙益：珠江流域水利問題、鄭肇
經：支那水利行政問題。)
- 馮承釣著 井東憲訳、支那南洋交通史、大東出版社、1940.A5版、344ページ。
- 宋文炳著 小口五郎訳、支那民族史、大東出版社、1940.A5版、357ページ。
- 吳承洛著 藤枝文夫訳、支那資源及產業總覽、資源編、產業編、支那文化協會、1940.
A5版。
- 資源編、411ページ、石炭、鐵、錫、アンチモニー、タンクスチーン、マン
ガン、金、水銀、鉛、亜鉛、銅、次要金属礦、塩、石油及天然瓦斯、石膏及明
礬、其他の非金属礦。
- 產業編、471ページ、麵粉工業、精米業、製油工業、製糖工業、罐詰、卵
粉及其他の食品製造工業、醸造工業、製茶業、煙草工業、紡績工業、織布業、
蚕糸業、絹織物業、毛織業、製麻工業、髮網及花辺、毛皮、製革業、麥稈真田、
豚毛加工及刷子製造業、製紙業、印刷業、文具業及學用器械標本模型業
セ
メント製造工業、蜜業、煉瓦製造業、硝子及珊瑚製造業、漆及漆器製造業、印
刷インク及ベンキ製造業、染料製造業、石鹼及燭燭製造業、傘及扇子製造、マジ
ツチ製造業、製蠟、養蜂及虫膠片製造業、樟腦製造業、化學工業、化粧品藥製
造業、造船、機械及針釘製造工業。
- 馬乘風著 田中斎訳、支那經濟史、大東出版社、1941.A5版、297ページ。
- 鄭肇經著 田辺泰吉訳、支那水利史、大東出版社、1941.A5版、308ページ。
- 湯柳堂著 金坂博訳、支那食糧政策史、生活社、A5版、森儀一訳、支那食糧政策史、人
文閣、B6版、1941。

郎 挙 實 著 井東憲訳、支那食糧史、大東出版社、1941.A5版、319ページ。

東亜研究所訳 西北墾殖計画(熊希齡)、1941.11.A5版、560ページ。

喬 啓 明 蔣傑著、上松、山本訳 支那の人口と食糧問題、日光書院、1942.A5版、18.3ページ。

(3) 住民、経済、社会関係 (欧文の著書から)

ウイットフォーゲル著 平野義太郎監訳、解体過程にある支那の経済と社会、(上)、(下)、中央公論社、1934.(初版)、1941.(増刷)、A5版、(上)536ページ。(下)、433ページ。

(Wittfogel, K. A.; Wirtschaft und Gesellschaft Chinas; Versuch der wissenschaftlichen Analyse einer grossen asiatischen Agrargesellschaft. Leipzig, 1931.)

バツク 著 東亜經濟調査局(満鉄)編、支那農家経済研究、(上)、1935.A5版、320ページ、(下)、1936.3.94ページ。

(Buck, J. L.; Chinese Farm Economy. Shanghai, 1930.)

マジヤル著 早川二郎訳、支那の農業経済、白揚社、1936.A5版、597ページ。

エム・カザニン著 堀江邑一訳、支那經濟地理概論、日本評論社、1938.A5版、302ページ。

野田健二訳、支那満州經濟地理、白揚社、1938.A5版。

チヤオ・チヅ・ティ(冀朝鼎)著、佐渡愛三訳、支那社会経済史分析、白揚社、1938.A5版、206ページ。

(Chi Chao-Ting; Key Economic Areas in Chinese History, as revealed in the Development of Public Works for Water Control. London, 1936.)

- ハック著 塩谷、仙波、安藤訳、支那の農業（記述篇）、改造社、1938.A5版。
- 三輪、加藤訳、支那農業論、（上）、（下）（記述篇、統計篇）、生活社、1938.A5版。
- 岩田孝三訳、支那土地利用地図集成、東学社、1938.大版。
- (Buck, J. L.; Land Utilization in China. A study of 16,786 farms in 168 localities, and 38,256 farm families in twenty-two provinces in China, 1929-1933. 3 Vols., Vol. I, Vol. II (Statistics), Vol. III (Atlas). The University of Nanking, Nanking. 1937.)
- 費 孝 通 著 仙波、塩谷訳、支那の農民生活。——揚子江流域に於ける田園生活の実態調査——、生活社、1939.A5版、363ページ。
- (Hsiao-Tung Fei: Peasant Life in China; A Field Study of Country Life in the Yangtze Valley. London, 1939.)
- ウイルマンス著 若林友康訳、支那農業經濟論、生活社、1940.A5版、162ページ。
- ペイン 著 矢部、加藤訳、東亜の鉱産と鉱業、（東亜研究叢書、7.）生活社、1940.A5版、390ページ。
- (Bain, H. F.; Ores and Industry in the Far East, the Influence of Key mineral Resources on the Development of Oriental Civilization. Council on Foreign Relations, 1933.)
- ワグナー著 天野、高山訳、中国農書、（上）、（下）、生活社、A5版、（上）1940.255ページ、（下）1942.693ページ。
- (Wagner, W.; Die Chinesische Landwirtschaft, 1926)
- 東亜研究所 蘇聯側より觀たる奥地支那經濟論、（翻訳）（支那奥地資料彙報第3輯）叢
1941.12.B6版、146ページ。
- （これも戦時中の機関から発行された資料の1例である。当時はこういうものがいろいろあつたことゝ思う。翻訳物でありながら叢になつてゐるのは、ソ

連側の見解を、一般には知らせたくなかつたからであろう。)

1. ヨーラン、「民族支那の戰時經濟に就いて」(1941)、
2. オストロフスカヤ、「支那農業の現状」(1940)、
3. ドゥバーソヴア、「支那の工業的發展」(1940)、
4. バデースキー、「支那の財政」(1941)、
5. オストロフスカヤ、「支那に於ける交通路建設」(1939)、
6. パシコフ、「民族支那に於ける運輸と通信」(1941)、
7. ボプロフスカヤ、「貴州省——經濟地理的概観」(1941)、
8. 朱徳「解放戰争に於ける北支那」(1940)。

李 济 著

須山卓訳、支那民族の形成、生活社、1943.A5版、430ページ。

(Chi Li, ;The Formation of the Chinese People.
Harvard Univ. Press., 1928.)

キング 著

杉本俊朗訳、東亞四千年的農民、栗田書店、1944.3.A5版、345ページ。
(King, F. H.; Farmers of Forty Centuries or
Permanent Agriculture in China, Korea and Japan,
Wisconsin, 1911.)

ラティモア著

小川修訳、中国——民族と土地と歴史——、岩波新書、1950.

(参考)

「東亞研究所、興亞院、滿鉄その他の機関発行の図書について」
これらの機関発行の図書の数種についてはすでに紹介したが、これらのほかにも地理に關係が深いものがまだ多数あつた。試みに近代中国關係の『邦文図書目録』(東洋文庫、近代中国研究室編、1963.7.)に掲載されている東洋文庫(東京都文京区駒込上富士前、147)の蔵書の中から、抜き出してみる。

東亞研究所

(この機関の性格については、具体的図書例に関連させて、すでに述べた)。
内蒙古の農牧業(85p, 1941.)、海南島地志抄:瓊州府志(470p, 1942.)、開封を中心とする運河網:宋代黃河流域運河の研究(33p, 1941.)、灌溉用水としての華北の水質(39p, 1941.)、黃土の物理化学的研究(34p, 1940.)、黃淮地帯の農作物調査(277p, 1940.)、古文献に基く支那物

産分布資料索引 (910 p、1941.)、山西省の土壤 (モイヤー著、33 p、1941.)、山東省に於ける農作物地域の研究 (52 p、1940.)、支那農業氣象便諺集 (中山大学理工学院編、142 p、1943.)、支那農業基礎統計資料 (1) : 满州、蒙疆、支那各省各県別の網羅的估計 (67 p、1940.)、支那農業基礎統計資料 (2) : 農情報告、1931—1936、蒙疆、支那各省別累年統計總輯 (179 p、1943.)、支那の石炭と炭鉱業 (222 p、1944.)、省別に見たる黃河流域地誌 (1—3) (3冊、1940.)、中國水利史 (鄭肇經著、410 p、1940.)、東亜關係統計資料目録 (331 p、1942.)、北支灌溉放水事業調査: 淮河、蘇運河、海河、黃河、淮河水系 (222 p、1941.)、北支に於ける井戸灌溉 (42 p、1941.)、黃河誌、地質編 (侯德封編、78 p、1940.)、黃河、黃土關係文献目録 第5輯 (1939.)

興 亞 院

(戰時中にできたこの機関の性格は、外部の者にはよくわからなかつたが、現地の出張所は、〇〇連絡部とよばれていた。)

支那人口に関する資料 (66 p、1941.)、蒙疆に於ける林業調査 (681 p、1941.)、廈門島全図 (廈門連絡部、地図 1、1939.)、福建華僑經濟 (鄭林寬著、廈門連絡部訳、108 p、1940.)、蒙疆に於ける土地改良に関する調査 (技術部、565 p、1940.)、兩淮地方の塩墾事業 (126 p、1941.)、北支蒙疆農業調査報告書 (政務部、265 p、1940.)

中支建設資料整備委員会

(これは戰時中、南京で組織されていたものであるが、どういう性格の機関であつたのか、私は知らない。)

河南省の棉業 (訳編、47 p、1940.)、湖南省の桐油と桐油業 (訳編、130 p、1940.)、支那經濟關係資料目録 (16 p、1940.)、支那工業關係資料目録 (10 p、1940.)、支那鉱業關係資料目録 (19 p、1939.)、同補遺 (14 p、1940.)、支那交通關係資料目録 (8 p、1940.)、支那公路關係資料目録 (9 p、1939.)、支那水利關係資料目録 (17 p、1939.)、支那茶業の經濟的考察 (訳編、251 p、1940.)、支那地理關係資料目録 (18 p、1940.)、支那鐵道關係資料目録 (19 p、1939.)、支那農業關係資料目録 (17 p、1939.)、同補遺 (13 p、1940.)、支那の毛織工業 (訳編、202 p、1941.)、支那文雜誌內容索引目録 (340 p、1940.)

満鉄調査部

(満鉄は上記の機関とちがつてその歴史も古く、多くの調査部門をもち、滿州や華北方面の方々の都市に事務所や調査室をもつていて、多くの資料を刊行していた。これらの多くは現地調査に基いた重要な資料であつたが、経済的調査のものがおもであつた。資料もいろいろな部門から出されたものがあつたが、新しいものは、満鉄調査部とその出先機関からのものが大部分を占め、満鉄調査月報もこゝで編修されていた。)

北支那畜産調査資料(433p、1937)、北支那農業開発方策(268p、1937)、支那土地問題に関する調査資料(982p、1940)、満州經濟年報、満州農業統計、満鉄刊行物目録。

満鉄東亜經濟調査局発刊書、支那邊疆概観(164p、1935)、南洋華僑と福建、廣東社会(訳書、328p、1939)、仏領印度支那に於ける華僑(212p、1939)。

論文 (A)

I 中国本土全般

(1) 自然関係(東亞を含む)

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
-----	-----	-------------	-------------

荒川秀俊	日本附近の各気塊の特性	気象集誌、2輯、13巻 9号、14巻、7号	1935. 1936.
------	-------------	--------------------------	-------------

福井英一郎	支那の気候	地理教育、28巻、5号	1938.8.
-------	-------	-------------	---------

山根新次	支那の地質及び鉱物資源 概観	地理教育、28巻、5号	1938.8.
------	-------------------	-------------	---------

岡田武松	支那の気候	地学雑誌、支那号第1.	1938.9.
------	-------	-------------	---------

小山一郎	支那の金属鉱業	地学雑誌、支那号第2.	1938.11.
------	---------	-------------	----------

保柳陸美	支那の気候資料 「北支、蒙古の地理」	地理教育、29巻、4号 古今書院。	1939.1. 1943.
------	-----------------------	----------------------	------------------

井上禮之助	支那に於ける炭田の地質 及炭量の概要	地学雑誌、支那号第3.	1939.1.
-------	-----------------------	-------------	---------

辻村太郎	支那の地形並に景観	地学雑誌、支那号第5.	1939.5.
------	-----------	-------------	---------

山階芳磨	支那の鳥類	科学、9巻、5号	1939.
------	-------	----------	-------

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
保柳睦美	支那に於ける有史以来の地理学、7巻、7号 気候変化に関する諸説と8号 その批判(1)(2)		1939.
津秀隆、田島節夫、村瀬信夫	東亜温帯低気圧の構造	気象集誌、2輯、17巻 9号	1939.
渡辺光	支那の地形	「支那地理大系、自然環 境篇」	日本評論社、1940.
福井英一郎	支那の気候	「支那地理大系、自然環 境篇」	日本評論社、1940.
多田文男	支那の土壤	「支那地理大系、自然環 境篇」	日本評論社、1940.
鹿野忠雄	支那の生物	「支那地理大系、自然環 境篇」	日本評論社、1940.
坪谷幸六	支那の鉱物資源	「支那地理大系、自然環 境篇」	日本評論社、1940.
東条貞義	極東に於ける環流と降雨 機構	気象集誌、2輯、18巻 4号	1940.
高橋浩一郎	初冬に於ける極東亞細亞の天気変遷の動氣候学的 観察	気象集誌、2輯、18巻 6号	1940.
高橋浩一郎	夏季に於ける極東亞細亞の天気変遷の動氣候学的 観察	気象集誌、2輯、18巻 11号	1940.

著者名 論文名 雜誌、巻、号(書籍名) (発行所)刊行年(月)

高橋 浩一郎 極東亞細亞に於ける春季 気象集誌、2輯、19巻
の天候変遷の動氣候学的 2号
観察

1941.

高橋 浩一郎 極東亞細亞に於ける冬季 気象集誌、2輯、19巻
の天候変遷の動氣候学的 4号
観察

1941.

高橋 浩一郎 極東亞細亞に於ける初夏 気象集誌、2輯、19巻
の天候変遷の動氣候学的 7号
観察

1941.

吉村 信吉 支那の湖沼 地学雑誌、支那号
第13

1941.9.

高橋 浩一郎 東亞に於ける秋季の天候 気象集誌、2輯、20巻
の動氣候学的観察 1号

1942.

鈴江 言一訳 商代「卜辞」に現われた 滿鉄調査月報、22巻
気象記録(ウイットフォ
ーゲル)

1942.

多田 文男 支那の火山 地理学研究、1巻、1号

1942.

福井 英一郎 東亞に於ける降水年変化 地理学評論、18巻
型 6号

1942.

荒川 秀俊 東亞の上層気温及温度 気象集誌、2輯、20巻
10号

1942.

細野 実 支那に於ける更新世水 地学雑誌 支那号第20
(抄訳) 河現象(ウイスマン)

1943.4.

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
保 柳 瞳 美	支那の天災	「北支、蒙古の地理」	古今書院	1943.
小 林 貞 一	中央亜細亜の古地理的変遷と地質構造発達史	地理学、11巻、4号		1943.
福 井 英一郎	東亜の乾燥限界	気象集誌、2輯、21巻 12号		1943.
関 口 武	支那における最近の降水量変化(演旨)	地理学評論、20巻 1号		1944.
荒 川 秀 俊	東亜に於ける0°C高度	気象集誌、2輯、22巻 1号		1944.
菅 野 一 郎	中国の土壤型とNS係数との関係	科学、17巻、8号		1947.

(2) 人口、民族、集落

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
福 田 省 三	支那移民に就て(1)(2)	支那研究(東亜同文) 35号、36号		1934.12. 1935.3.
満鉄資料課	中国の水災とその災民	満鉄調査月報、16巻 7号		1936.
馬 場 鍼太郎	支那に於ける都市出現並に集中状況に就て	都市問題、26巻、2号		1938.2.
江 上 波 夫	支那の都市と農村	地理教育、28巻、5号		1938.8.

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
後藤朝太郎	支那の水村山郭	地理教育、28巻、5号	1938.8
村松繁樹	支那聚落に就いての若干の記載	地理教育、28巻、5号	1938.8.
須田昭義	支那の諸民族	地理教育、28巻、5号	1938.8.
野原四郎	支那回教の現状	地理教育、28巻、5号	1938.8.
石田竜次郎	支那の人口、都市、工業化	地学雑誌、支那号第4	1939.2.
上田信三	支那の人口問題(演旨)	地理学評論、15巻、6号	1939.
佐木清治	支那の都市地理(1)(2)(3) (4)(5)(6)	地理教育、31巻、2号 3号、5号 32巻、6号 33巻、1号、3号	1939.11.12. 1940.2. 1940.9. 1940.10.12.
西山栄久	支那に於ける都市の地理的分布	都市問題、30巻、4号	1940.4.
市政調査会資料室	最近の支那都市とその都市計画	都市問題、30巻、4号	1940.4.
秋沢修二	支那的都市と支那的社會 一支那都市および支那社会の特質について	都市問題、30巻、4号	1940.4.
佐伯富	近世支那に於ける都市と農村	都市問題、30巻、4号	1940.4.

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(是)
市政調査会資料 室	支那都市に関する文献目録	都市問題、30巻、4号	1940.4
鹿野忠雄	支那の諸民族	「支那地理大系、自然環境篇」日本評論社。	1940
上田信三	中華民国の都市人口統計 に就て(演旨)	地理学評論、16巻、 11号	1940
上田信三	中華民国都市人口統計、 (上)(下)	支那研究(東亜同文) 58号、59号	1941.3 1941.4
市政調査会資料 室	支那都市概要	都市問題、34巻、5号	1942.5
布村一夫訳	支那人囗の歴史的考案 (イ・ザハーロフ) (上)(下)	満鉄調査月報、2巻、 10号、11号	1942
上田信三	支那の総人口	地学雑誌、支那号 第39、	1942.12
小堀巖	リヒトホーフエンの聚落 論について(演旨)	地理学評論、21巻、9 10、11合併号	1948.12
辻田右左男	中国の人口(演旨)	地理学評論、23巻、2 3、4、5合併号	1950.5

(3) 土地利用、経済、交通

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所) 刑行年(日)
満鉄資料課	支那農民の移動と荒蕪地 の増加及開墾事情	満鉄調査月報、16巻、 1号	1936
豊島四郎	ウイットフォーゲル「解 体過程にある支那の經濟 と社會」に就て	満鉄調査月報、16巻、 4号	1936
別技篤彦	現代支那の交通路の狀況 に就いて(1)、(2)	地理教育、27巻、1号、 2号	1937.10.11
米倉二郎	土地利用より見たる支那 の農業地域	地理教育、28巻、5号	1938.8
白石幸三郎	支那に於ける紡績業の過 去及将来	地理教育、28巻、5号	1938.8
内田寛一	支那の國際的交通路	地理教育、28巻、5号	1938.8
宮田忠雄	支那貿易と日支貿易	地理教育、28巻、5号	1938.8
下田礼佐	地理より觀察した支那の 貨幣制度	地理教育、28巻、5号	1938.8
太田喜久雄	支那經濟建設の地理的意 義	地理教育、28巻、5号	1938.8
吉村泰明	支那の交通	地理教育、28巻、5号	1938.8

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
佐々木 正秀	支那鉄道とその特異性	地理教育、28巻、5号	1938.8
大久保 武雄	支那に於ける航空路	地理教育、28巻、5号	1938.8
上田 信三訳	支那に於ける商業地理の変遷(クレツシ夫人)	地理学、6巻、9号	1938.
田中 啓爾	支那の地域区分	地学雑誌、支那号第4、	1939.2
宇田 米夫	支那輸出生絲の過去及現在	地理学、7巻、2号	1939.
上田 信三	支那の経済地域区分	支那研究(東亞同文) 50号	1939.3
太田 英一	現代支那経済の地域的構造	支那研究(東亞同文) 50号	1939.3
青野 寿郎	支那に於ける漁獲高	地理(大塚)、2巻、 2号	1939.4
内田 寛一	地理上より見たる支那塩の若干の問題	地理教育、30巻2号	1939.5
田中 啓爾	支那の地域区分の問題 (演旨)	地理学評論、15巻、 6号	1939.
佐藤 晴生	支那経済史に於ける灌溉	満鉄調査月報、20巻、 4号	1940.
上田 信三	支那の経済地域区分 (演旨)	地理学評論、17巻、 6号	1941.

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
織田武雄	支那に於ける落花生の生産及び貿易(上)(下)	地理学、8巻、3号、4号	1940.
田中啓爾	再び支那に於ける我が紡績業の発展に就て	地理(大塚)、4巻、1号	1941.1
村松繁樹	支那の交通	地学雑誌、支那号第14、	1941.12
菊田太郎	支那に於ける工業立地選定の事例	地理学、10巻、1号	1942.
川田三郎(訳)	雲南—ビルマ・ルート(フリツツゲラルド)	地理学、10巻、1号	1942.
天野元之助	支那に於ける水稻栽培	満鉄調査月報、22巻、5号	1942.
天野元之助	支那農業に於ける水の意義(1)(2)	満鉄調査月報、22巻、8号、10号	1942.
浅山鹿誠次	ヒマラヤ越えの交通とその自然的条件	地理学、10巻、12号	1942.
柴三九男	古代支那農業史における水の問題	「東洋農業経済史研究」	日本評論社 1948.
西山武一	中国における水稻農業の発達	農業綜合研究、3巻、1号(通巻6号)	1948.
大橋育英	中国土地利用に於ける二類型	農業綜合研究、3巻、3号(通巻8号)	1949.

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
大橋育英	中国の米作	農業綜合研究、4巻、3号(通巻14号)	1950.
(4) 歴史地理、その他			
鮎沢信太郎	支那文化の發達地に就て 地球、23巻、5号 て		1935.5
藤田元春	支那文化の發達地に就て 地球、24巻、1号		1935.7
鮎沢信太郎	南漢仁が支那に紹介した 地球、24巻、5号、 世界地理書に就いて 6号 (1) (2)		1935.11.12
有高巖	明代の船舶と航海術 地理教育、22巻、5号		1935.8
藤田元春	明代の日本航路 地理教育、22巻、5号		1935.8
赤堀英三	北平の地質学者を語る 地球、25巻、5号 —主に北京猿人をめぐる 人々—		1936.5
鮎沢信太郎	利瑪竇の世界地図に就い 地球、26巻、4号 て		1936.10.
鮎沢信太郎	月令廣義所載の山海輿地 地理学評論、12巻、10号 全図とその系統		1936.
鮎沢信太郎	南漢仁の坤輿圖説と坤輿 地球、27巻、6号 外記に就いて		1937.6.

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
吉村信吉	黄海及び東支那海海洋誌	地理教育、28巻、5号	1938.8
秋岡武次郎	南懷仁著の坤輿図説に就いて(1)(2)(3)(4)	地理教育、29巻、1号、2号、3号、6号	1938.10.1 1.1.2. 1939.3
江沢譲二	支那に於ける人文地理学説	地理学、7巻、3号	1939.
増田忠雄	支那に於ける近代地理学の発達	地理教育、31巻、2号	1939.1.1.
吉田敬市	日支交通史より見た五島、平戸列島	「地理論叢」(京大地理) 第11輯	古今書院 1940.
小関尚志	唐代交通発達の歴史地理的考察、(上)(下)	地理学、8巻、9号、12号	1940.9.12
高木菊三郎	支那地図概観	地学雑誌、支那号、第10、	1940.1.2.
上田信三	支那地理研究資料目録	「世界地理、第5巻、支那Ⅱ、辺疆」	河出書房 1941.2
中村拓	東亜地図の歴史的変遷	「統大陸文化研究」(京城帝国大学)	岩波書店 1943.
木内信蔵	東亜地理学	科学、14巻、9号	1944.
河原正博	中国地名の変遷—2・3 の覚書を中心として—	社会地理、11号	1949.3

著者名 論文名 雜誌、巻号(書籍名) (発行所)刊行年(月)

日比野 丈夫 新唐書地理志の土貢について 東方学報、17号 1949.

河野通博 清代の馬駅路 人文地理、2巻、1号 1950.1

北村四郎 中国栽培植物の起源 東方学報、19号 1950.

河野通博 清代馬駅の交通地理学的研究(演旨) 地理学評論、23巻、2.3.4.5合併号 1950.5

野口保市郎 古代中国の地理学の発達 新地理、4巻、7号 1950.8.
について

論 文 (B)

II 满 州

(1) 自然関係(a)全般

著者名	論 文 名	雑誌 卷, 号 (書籍名)	(発行所) 刊行年(月)
小倉 勉	滿州に於ける火山活動	火山、2卷、3号	1935.
田辺 三郎	新京に於ける冬季気温の週期変化に就て	気象集誌、2輯、13卷、5号	1935.
秋岡武次郎	滿州国の地形区	地理学評論、11卷、6号	1935.
満鉄資料課	康徳元年全満水害状況	満鉄調査月報、15卷、3号	1935.
江守 保平 他	北満に於ける湿地	大陸科学院報、1卷、3号	1937.
田口 稔	遠東湖沼学書目	陸水学雑誌、8卷、3, 4号	1938.
多田 文男	内陸砂丘の移動と気候変化 (演旨)	地理学評論、15卷、2号	1939.
新帶国太郎	満州の湿地	満鉄地質調査所報告 大連	1939.
淵 秀隆	黄沙に就いて	気象集誌、2輯、17卷、12号	1939.
多田 文男	満州の砂丘	地理教育、31卷、4号	1940. 1
福井英一郎	満州に於ける人体気候に就いて (演旨)	地理学評論、16卷、11号	1940.
斎藤 林次	満州国地質の概観	満州国地質調査所報、100号	1940.
松沢 黙	満州の地形と地質	「世界地理、第2卷、満州」 河出書房 1941. 4	

著者名 論文名 雑誌、巻、号(書籍名) (発行所)

草光 繁 满州の気候 「世界地理、第2巻、満州」 河出書房 1

遠藤 隆次 满州の鉱物資源 「世界地理、第2巻、満州」 河出書房 19

稻荷山資生 满州の植物 「世界地理、第2巻、満州」 河出書房 19

山本 荘毅 满州の地下水に就て
—その概観、問題— 地理学、9巻、7号 19

河田喜代助 满州の地理的特異性
—湿地と地盤の凍結作用に
就いて— 地理学、9巻、7号 19

竹内 亮 满州国に産する針葉樹と
其の分布地理 地理学、9巻、7号 19

三野 与吉 满州国に於ける二、三の地
形(演旨) 地理(大塚) 4巻、2号 1

多田 文男 内陸流域としての満州盆地
(演旨) 地理学評論、18巻、6号 1

多田 文男 内陸流域としての満州盆地 「日本地誌学(1)」 中興館 1

奥村 和夫 永久凍土層地帯の地下水
(演旨) 地理学評論、19巻、6号 1

福井英一郎 满支に於ける体感気候上の
諸問題(演旨) 地理学評論、19巻、6号 1

木内 四郎兵衛 满州に於ける凍結現象
(1) (2) 地理学評論、19巻、7号、
8号 1

辻田 時美 满ソ国境の興凱湖 (1) (2) 陸水学雑誌、12巻、13巻 1

村上 政嗣 满州河川の凍結に就いて
(演旨) 陸水学雑誌、13巻 1

須藤 万治 满州に於ける扇状地の性質
と利用開発 地理学、12巻、1号 1

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
-----	-----	------------	-------------

河田喜代助	満州の土壤	地理学研究、3卷、2号	1944.
-------	-------	-------------	-------

多田文男	内陸砂丘の生成	資源研報、10号	1946.
------	---------	----------	-------

山本荘毅	満州の最近の地史 (演旨)	地理学評論、21卷、2号	1947.10
------	------------------	--------------	---------

山本荘毅	満州に於ける最近の地史	科学、18卷、1号	1948.
------	-------------	-----------	-------

(2) 自然関係(b)地 方

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
-----	-----	------------	-------------

松沢勲	満州熱河地方承德付近の地質構造に就いて	地質学雑誌、42卷、 500号	1935.5
-----	---------------------	--------------------	--------

多田文男	起伏量図より見たる熱河山地の区分(演旨)	地理学評論、11卷、1号	1935.
------	----------------------	--------------	-------

松沢勲	満州熱河地方の断層系統とその中世代地殻変動に就いて	地理学評論、11卷、1号	1935.
-----	---------------------------	--------------	-------

佐藤捨三	熱河の地質及び岩石	「第1次満蒙学術調査研究団報告、第2部、第3編」	1936.
------	-----------	--------------------------	-------

小倉勉	龍江省五大連池火山地質調査報文	旅順工大火山報告、1号	1936.
-----	-----------------	-------------	-------

村越信夫	北満州に於ける秋季降水量予報の可能性	気象集誌、2輯、15卷、 6号	1937.
------	--------------------	--------------------	-------

多田文男	熱河山地の發達度(演旨)	地理学評論、13卷、6号	1937.
------	--------------	--------------	-------

遠藤隆次	奉天の地下水に就いて	地学雑誌、49卷、578号	1937.
------	------------	---------------	-------

内野敏夫	哈爾浜及其同附近地質及地下水に就いて	満鉄地質調査所報告	1937.
------	--------------------	-----------	-------

著者名	論文名	雑誌巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
岩井淳 吉沢等	満州北西部の地質及地誌	「満鉄地質調査所特別出版」	1937.
竹山俊雄 浅野五郎 斎藤林次 等	満州北東部の地質及地誌	「満鉄地質調査所特別出版」	1937.
植田房雄 笹倉正夫 等	満州南西部の地質及地誌	「満鉄地質調査所特別出版」	1937.
牛丸周太郎 森田日子次 等	満州北部の地質及地誌	「満鉄地質調査所特別出版」	1937.
小倉勉 松田龜三	満州国龍江省五大連池火山 概報	火山、3巻、4号	1938.
花井重次	東部満州の地形の問題	地理(大塚)、1巻、3号	1938.10
竹内亮	北満五大連池火山の自然と 人文	地理学、6巻、9号、10号	1938.
小倉勉	北満火山の形態	地理学評論、14巻、11号	1938.
小倉勉	龍江省二克山火山地質調査 報文	旅順工大火山報告、2号	1938.
花井重次	東部満州の火山地形	地理学評論、15巻、12号	1939.
小倉勉	奉天省七星火山地質調査報 文	旅順工大火山報告、3号	1939.
三野与吉	満州国熱河地方の鱗状地肌	地理(大塚)、3巻、3号	1940.8
村上政嗣	松花江の水文学的研究 (演旨)	地理学評論、16巻、11号	1940.
草光繁	白頭山山麓地形踏査記	満州国地質調査所報 100号	1940.12

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
小倉 勉	満州龍灣火口湖	科学、11卷、2号	1941.
村田 貞蔵	遼東準平原に就いて (短報)	地理学評論、17卷、3号	1941.
三野 与吉	壱蘆島の海岸地形	地理(大塚)、4卷、2号	1941. 4
山本 荘毅	満州第2の深湖老嶺龍灣其 他の測深結果	科学、12卷、5号	1942.
深谷 正秋	ノモンハン附近の砂丘	「日本地誌学(1)」	中興館 1942.
山本 荘毅	龍灣火口湖の湖沼学的予察 研究	地理学評論、19卷、1号	1943.
千葉 徳爾	興安嶺西麓に於ける二、三 の地理的觀察	地理(大塚)、5卷、4号	1943. 9
辻田 時美	満ソ国境の興凱湖(1)(2)	陸水学雑誌、12号、13号	1943.
保柳 睦美	遼河流域の砂丘地形(1)(2)	地理学評論、19卷、11号 , 12号	1943.
千葉 徳爾	ホロンベイル地方の砂丘砂 (短報)	地理学評論、20卷、3号	1944.
千葉 徳爾	黒龍江水源山地の谷壁形態 (演旨)	地理学評論、21卷、9, 10 10, 11合併号	1948.12
千葉 徳爾	ダウリヤ山地の斜面形	地理学評論、22卷、3, 4 5合併号	1949. 9
千葉 徳爾	大興安嶺地帯の地下凍結	地理学評論、22卷、8号	1949.11
多田 文男	北満州平野の地形 —気候湿潤化に伴う地形変 化の例—	「東大地理学研究(1)」	古今書院 1950.

(3) 住民、都市、村落

著者名	論文名	雑誌巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
有高 嶽	中部満州に於ける漢人聚落	「聚落地理学論文集」	中興館 1935.
満鉄資料課	入満労働者の状態	満鉄調査月報、15巻、9号	1935.
満鉄資料課	呼倫貝爾の植民	満鉄調査月報、16巻、3号	1936.
満鉄資料課	北満に於ける朝鮮人移民の流入及定着事情	満鉄調査月報、16巻、10号	1936.
辻村 太郎 吉村 泰明	南満州に於ける聚落の分布	地理学、4巻、10、A号	1936.
森 寿美衛 上田 長市	鐵都鞍山(1—3)	地理学、5巻、1号、2号、3号	1937.
善生 永助	満鮮人雜居地帯の村落調査 —吉林省永吉県大屯部落の1例—	満鉄調査月報、17巻、5号	1937.
田中 秀作	満蒙聚落の植民地理的意義 (演旨)	地理学評論、13巻、6号	1937.
哈爾賓市公署工務處	哈爾賓都邑計画の特異性に就いて	都市問題、27巻、4号	1937.10
矢沢 大二	我が満州農業開拓村に就いて	地理学、7巻、5号	1939.
木内 信藏	満州国都市の分布(演旨)	地理学評論、15巻、6号	1939.
矢沢 大二	満州農業移民村(演旨)	地理学評論、15巻、6号	1939.
島 之夫	満州国の家屋	地理教育、30巻、3号	1939. 6
矢沢 大二	満州に於ける我が農業移民村の現状に関する若干の考察	地理学評論、15巻、7号	1939.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
橋田 一二	満州に於ける本邦内地人の初期發展	地理(大塚)、2卷、3号	1939. 7
石田 精一	北滿農村の動態的考察	満鉄調査月報、19卷、10号	1939.
花井 重次	満州國に於ける農業開拓民の現況について	地理(大塚)、2卷、4号	1939.10
鮫島 光彦	鉄と石炭の新市、本溪湖	都市問題、29卷、5号	1939.11
島 之夫	満州國の民屋(演旨)	地理学評論、16卷、1号	1940.
木内 信蔵	満州諸都市の民族構成 (日本人人口を中心として)	地理学評論、16卷、3号	1940.
田中 啓爾	満州國に於ける民族の接触 地域	地理(大塚)、3卷、2号	1940. 4
花井 重次	満州開拓農民の分村運動の現状について	地理(大塚)、3卷、3号	1940. 4
山口 俊策	東滿の中心地、牡丹江市	地理(大塚)、3卷、2号	1940. 4
内田 寛一	北滿炭田の雄、鶴岡	地理(大塚)、3卷、2号	1940. 4
木内 信蔵	團郭の形態及び分布 —胡同の形態及び利用と大陸都市の閉鎖的性格に就いて—	地理教育、32卷、4号	1940. 7
金仁基 吳振輝	北満における鮮人農家の入植過程と鮮満農家の土地所有並利用事情	満鉄調査月報、20卷、7号	1940.
木内 信蔵	満州に於ける團郭都市の分布	地理学評論、16卷、11号	1940.
尾崎四郎	我が満州開拓民の地理学的研究(第2報)(演旨)	地理学評論、16卷、11号	1940.
島 之夫	満州國の道路型と聚落型	「地理論叢」(京大) 第11輯	古今書院 1940.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
木内 信藏	満支都市に於ける木材の使用及び市街の柱廊(短報)	地理学評論、17卷、2号	1941.
石田龍次郎	満州国の人囗に就いて —その分布、増加、構成 (演旨)	地理学評論、17卷、6号	1941.
代元 正成	北満農村の動向に関する1 資料一克山県程家油房屯実 態調査報告—	満鉄調査月報、21卷、5号	1941.
石田 精一	南満の村落構成 —特に旧官庄所在地を中心 として—	満鉄調査月報、21卷、9号	1941.
竹内 亮	満州の民屋と煙突	地理学、10卷、3号	1942.
千葉 徳爾	ソ聯黒龍江流域の農村に就 いて	地理学、10卷、12号	1942.
山口平四郎	北満農村素描	人文地理、1卷、2号	1948.
入江 敏夫	大興安嶺東麓砂丘地帯の 農牧部落の生態 —1944年当時の記録—	社会地理、16号	1949. 8
(4) 土地利用、経済、交通			
著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
武見 芳二	図們江岸の越境耕作 (予報)(演旨)	地理学評論、11卷、1号	1935.
和田 耕作	納謨爾河、呼裕爾河沿岸流域地方經濟事情 (1)(2)(3)	満鉄調査月報、15卷、 1号, 2号, 3号	1935.
石井 俊之	吉林省內三姓、勃利地方經濟事情 (1)(2)(3)(4)	満鉄調査月報、15卷、 4号, 5号, 6号, 7号	1935.
中野竹四郎	満州国の交通と地理的影響	地理教育、22卷、5号	1935. 8

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
中西 功	満州都市産業の現状	満鉄調査月報、15卷、8号	1935.
大森 進	奉天に於ける工業条件	満鉄調査月報、15卷、9号	1935.
鈴木小兵衛	一資料より見たる満州各地の農民分化 (1)(2)	満鉄調査月報、15卷、9号, 10号	1935.
哈爾浜經濟 調査所	甘珠爾廟市の概況	満鉄調査月報、15卷、10号	1935.
満鉄資料課	満州水田概況	満鉄調査月報、16卷、2号	1936.
水野 清	満州国の交通体系と河川運	地理学、4卷、5号	1936.
満鉄資料課	間島の耕地生産力並に人口支持力	満鉄調査月報、16卷、5号	1936.
井手 秀治	中南満地方に於ける水稻作 經營	満鉄調査月報、22卷、6号	1936.
江口 康光	満州に於ける新設鉄道の概 観	満鉄調査月報、16卷、6号	1936.
佐藤 弘	満蘇接壤地帯の経済地理 (1~5)	地理学、4卷、7号, 8号, 9号, 10号, 12号	1936.
満鉄資料課	全滿織布工場と新京市場に 於ける綿糸布の需給	満鉄調査月報、16卷、8号	1936.
満鉄資料課	北満に於ける油坊工業の現 状	満鉄調査月報、16卷、11号	1936.
浅井 治平	大連、羅津両港の交通圈に ついて (1)(2)	地理教育、25卷、1号、2号	1936.1.1. 12
中野竹四郎	満州初期の貿易と地理的環 境	「石橋博士記念論文集(京大 古今書院 1936. 地理論叢、8輯)」	1936.
田中 秀作	満蒙開拓者としての漢族商 人(第1報)	「石橋博士記念論文集(京大 古今書院 1936. 地理論叢、8輯)」	1936.
入江 久夫	満蒙の開拓地域	「石橋博士記念論文集(京大 古今書院 1936. 地理論叢、8輯)」	1936.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
川瀬金次郎	北満に於ける酒精工業の現状 (1)(2)	満鉄調査月報、17卷、4号 , 5号		1937.
杉本 一郎	北満に於ける農業經營規模と労力並畜力の関係	満鉄調査月報、17卷、6号		1937.
落合 兼行	満州に於ける水力発電について	満鉄調査月報、17卷、6号		1937.
田口 稔	満州に対する經濟地理学の役割	地理学、5卷、8号		1937.
北満經濟調査所	北満に於ける繊維工業の現状	満鉄調査月報、17卷、9号		1937.
内野 来助	カナダと満州農業比較	満鉄調査月報、17卷、10号		1937.
鈴木小兵衛	北満州に於ける土地配分 (1)(2)(3)	満鉄調査月報、18卷、1号 , 2号, 3号		1938.
吳 振輝	労力畜力を中心とする北満の農業經營について —克山県の満人部落調査—	満鉄調査月報、18卷、3号		1938.
田口 稔	満州大豆と遼河の水運、付 満州大豆に関する文献	地理学、6卷、4号		1938.
平野 蕃	蒙古人の農業	満鉄調査月報、18卷、4号		1938.
北満經濟調査所	北満に於ける機械農業	満鉄調査月報、18卷、7号		1938.
佐藤 武夫	満州の都市近郊地帯の蔬菜栽培事情 (其の1、哈爾浜近郊)	満鉄調査月報、18卷、10号		1938.
山本 幸雄	興安省の牧畜	地理(大塚)、3卷、1号		1940. 1
北満經濟調査所	北満農家經濟調査	満鉄調査月報、21卷、2号		1941.
米倉 二郎	清代北満の屯墾	東亜人文学報、1卷、3号		1941.

著者名 論文名 雑誌卷,号(書籍名) (発行所) 刊行年(月)

- 森口 誠造 满州米作の危険度に関する一考察 满鉄調査月報、21卷、3号 1941.
- 牛山 喜 北満の農業 「世界地理第2卷、満州」 河出書房 1941. 4
- 満州經濟実態研究班 (江頭恒治他) 满州大豆の研究 建国大学、研究期報、1輯 1941. 5
- 田口 穏 满州土地利用図 地理学、9卷、7号 1941.
- 入江 久夫 满州經濟地域の変遷 地理学、9卷、7号 1941.
- 小平 権一 满州農業の特質 地理学、9卷、10号 1941.
- 奥田 工藤 享秀 满州水稻作の社会經濟的諸条件 满鉄調査月報、21卷、12号 1941.
- 石田 精一 南満に於ける大農經營 满鉄調査月報、21卷、10号 1941.
- 横田 長光 满州糖業立地と甜菜栽培事情 满鉄調査月報、22卷、12号 1942.
- 川村 順 满州に於ける人工林が農産物増産に及ぼす効果 满鉄調査月報、23卷、5号 1943.
- 村越 信夫 满州の農業と気象(第1報) 農業気象、1巻 気候型 1943.
- 加藤 繁 满州に於ける大豆、豆餅生産の由来に就いて 「東洋農業經濟史研究」 日本評論社 1948.

(5) 地方誌

著者名 論文名 雑誌卷,号(書籍名) (発行所) 刊行年(月)

- 山崎 維城 興安北省三河地方概観 满鉄調査月報、15卷、3号 1935.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
満鉄資料課	依蘭地方の概況	満鉄調査月報、16卷、1号		1936.
竹内 亮	北満浜江省西部地域の自然 と農業	地理学、7卷、10号、1号 11号, 12号, 13号		1939.
山口 俊策	壺盧島	地理(大塚)、3卷、1号		1940. 1
牛山 喜	新設、四平省の地理	地理学、9卷、7号		1941.
田口 稔	北満	「世界地理、第2卷満州」	河出書房	1941. 4
牛山 喜	南満	「世界地理、第2卷、満州」	河出書房	1941. 4
河田喜代助	熱河の人文地誌	「世界地理、第2卷、満州」	河出書房	1941. 4
岩田 孝三	興安及び黒河	「世界地理、第2卷、満州」	河出書房	1941. 4
武見 芳二	東辺道	「世界地理、第2卷、満州」	河出書房	1941. 4

(6) 紀行 その他

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
渡辺 光	鮮満雑観(宗旨)	地理学評論、11卷、9号		1935.
米村 説	リヒトホーフエン、満州旅行記(1)(2)(支那日記の一 節)	満鉄調査月報、15卷、11号 12号		1935.
布 利秋	満蘇国境	地理学、4卷、10、A号		1936.
田口 稔	満州に於ける巨石遺物の地 理的分布	地理学、5卷、6号		1937.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
有高 嶽	古代に於ける日本と鮮満との交通	地理教育、26卷、6号		1937. 9
岩田 孝三	北満瞥見 (1)(2)	地理教育、27卷、4号, 5号		1938. 1. 2
田口 稔	アーネルト氏と其の満州地 誌への寄与	地理学、6卷、2号		1938.
岡田 修	満支旅行のノートから	地理学、6卷、2号		1938.
増田 忠雄	満州東部国境の諸問題	満鉄調査月報、19卷、3号		1939.
増田 忠雄	満州西北境における露支国 境	満鉄調査月報、21卷、1号		1941.
雑誌、地理 学	「満州の自然と人文」を語 る (辻村, 保柳, 竹内, 木 内, 伊藤, 吉村, 村田, 西 水)	地理学、9卷、1号		1941.

論 文 (C)

■ 華 北

(1) 自然関係(a)全般

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
山根新次	北支の地質及び鉱物資源	科学、8巻、4号	1938
渡辺光	北支那の地形	地理教育、28巻、5号	1938.8
大村一藏	北支の石油事情	地学雑誌、支那号第1	1938.9
内田寛一	支那の石炭(1)(2)(3)	地理教育、30巻、4号 31巻、1号、3号	1939.7 10.1.2
渡辺光	(北支の)地形、地質	「世界地理、第3巻 支那I、北支」	河出書房、1940.1
福井英一郎	北支那の気候	「世界地理、第3巻 支那I、北支」	河出書房、1940.1
保柳睦美	北支、蒙疆の気候変化と 年輪分析	地理学評論、16巻、12号 「北支、蒙古の地理」	1940 古今書院、1943
佐藤敬二	北支、蒙疆の造林	地学雑誌、支那号第10	1940.1.2
三森定男	有史以前の北支那	地理学、8巻、7号	1940
保柳睦美	北支、内蒙古の気候乾燥 化並びに砂漠拡大に関する 従来の研究	地学雑誌、支那号第11 「北支、蒙古の地理」 古今書院、1943	1941.3 古今書院、1943

著者名 論文名 雑誌、巻、号(書籍名) (発行所) 刊行年(月)

吉村信吉 北支那諸河川の結氷資料 地理学評論、17巻、7号
(短報) 1941

藏田延男 華北、蒙疆地質調査の 地質学雑誌、51巻
2.3の結果 604号 1944

藏田延男 華北に於ける浅層地下水 陸水学雑誌、14巻
質 (22—27) 1949

(2) 自然関係(b)黄河および華北平野

著者名 論文名 雑誌、巻、号(書籍名) (発行所) 刊行年(月)

太田喜久雄 咸豐5年北流後に於ける 「石橋博士記念論文集」 古今書院、1936
黄河河口の歴史地理学的 (京大地理論叢、第8
研究 輯)

小川琢治 北支那大平野の諸戦場と 地理教育、28巻、5号 1938.8
その地名の意義及び読み
方

鳥山喜一 黄河の変遷 地学雑誌、支那号第2 1938.11

佐藤弘 黄河の風土的性格 地理学、7巻、1号 1939

別技篤彦 黄河水災に関する若干の 地理教育、29巻、5号 1939.2.3.
資料(1)(2) 6号

武見芳二 北支平野 「世界地理、第3巻 河出書房、1940.1
支那I、北支」

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行月(月)
保柳睦美	北支平野生成に関する疑問(演旨)	地理学評論、16巻、7号	1940
保柳睦美	北支平野の成因に関する諸問題	地理教育、32巻、4号 「北支蒙古の地理」	1940.7 古今書院、1943
築浦進一	永定河の河道変遷の形態的特色の考察	地理(大塚)・3巻、3号	1940.8
神尾明正	華北沿岸の先史地理に就て(短報)	地理学評論、17巻、4号	1941
渡辺義晴	黄河の治水問題	地理学、10巻、1号	1942
吉村信吉	河北省北部に於ける地下水の塩素分布	資源研報、6号	1944.8
藏田延男	華北平原の堆積物	地質学雑誌、49巻、587号	1945.8
藏田延男	華北平原堆積物の地質学的研究—特にその層序と堆積基礎の形態について—	地質学雑誌、53巻 616—627号	1947
須藤賢	華北平野の風土的様相—飢餓—	人文地理、創刊号	1948.6
藏田延男	華北平原の深層地下水賦存の機構と水質諸要素	陸水学雑誌、14巻 (161—168)	1950

(3) 自然関係(c)黄土地帶その他

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
小川琢治	北支那黄土地域に於ける 戦争の地形的考察	地理教育、26巻、6号	1937. 9
矢嶋仁吉	北支那の黄土地方に於ける 農耕土壤に就いて	地理教育、29巻、1号	1938.10
徳田貞一	黄土の侵蝕地形(第1.2. 地理学、6巻、12号。 3型) (第4.5.型)	13号	1938
武見芳二	黄土地域の穴居	地理(大塚)、2巻、2号	1939. 4
脇水鉄五郎	支那の黄土	「世界地理、第3巻 支那I、北支」	河出書房、1940. 1
佐藤晴生	黄土の成因に関する諸説 訳の批判(リヒトホーフエン)	満鉄調査月報、20巻 1号	1940
佐藤晴生	支那黄土 訳(リヒトホーフエン)	満鉄調査月報、20巻 1号	1940
西脇親雄	黄土の峡谷(1)(2)	地理教育、31巻、 5号、6号	1940.2.3.
徳田貞一	黄土の風蝕形(第1型, 地理学、8巻、4号 第2型) (第3型) (第4型)	5号、7号	1940
多田文男	黄土の分布と成因に関する諸説	地学雑誌、支那号第11	1941. 3

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
柴田秀賢	北支蒙疆の黄土の組成と 型(演旨)	地質学雑誌、48巻 573号	1941
川原鳳策 松座鑑三	北支産黄土に関する1知 見	科学、12巻、5号	1942
三好政籌 菅野一郎	北支那黄土地帯における 二、三の土壤の機械的組 織	科学、12巻、8号	1942
三好政籌 菅野一郎	黄土地帯土壤質粘土の分 子比	科学、12巻、9号	1942
保柳睦美	北支の黄土とその生成に ついて	「北支蒙古の地理」 古今書院、1943	
菅野一郎	山西省黄土窪盆地の黄土 層の侵蝕状態について	科学、13巻、3号	1943
三好政籌 菅野一郎	黄土地帯土壤の侵蝕率に ついて	科学、13巻、12号	1943
木内信藏	黄土高原の旅(1)(2)	地理学、11巻、6号、7号	1943
酒井栄吾	華北に於ける黄土層の地 質学的研究(其2) —石太沿線の「黄土層」 に就いて—(講旨)	地質学雑誌、56巻 656号	1950.5
伊沢公幸	山東省炭田の概要	満鉄調査月報、16巻 6号	1936

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
田中 館秀三	山東省の鉱山	地理教育、28卷、5号		1938
神尾 明正	山東半島東南黄海西浜に於ける歴史時代の災異に就いて(短報)	地理学評論、18卷、7号		1942
長谷部 言人	周口店の最新世堆積	科学、13卷、2号		1943
吉村 信吉	紫金山の地形	地理学、11卷、2号		1943
多田 文男 西村 嘉助 泉 実	張家口地下水調査	陸水学雑誌、13卷 (173—181)		1944

(4) 土地利用、経済交通

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
松本 多智男	北支鉄道の現状(1)(2)(3)(4) —北寧、膠濟、平綫、平漠、正太、同蒲鉄道	満鉄調査月報、16卷 2号、3号、6号、7号		1936
飯田 秀吉	瀋海鉄道 現状(5)—	一北支鉄道の 満鉄調査月報、16卷 10号		1936
尾崎 博	北支五省の埋蔵資源 (1)(2)(3)(4)	地理教育、27卷、4号 5号、6号 28卷、1号		1937.1.2 1938.1.2.3.
中西 功	北支農業の特質 日本農業との比較に於いて—	一特に 満鉄調査月報、18卷 2号		1938

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
北支事務局調査室	北支水害、戰禍調査報告	満鉄調査月報、18巻 (1)(2)(3)		1938
		5号、6号、7号		
舛田一	北支の鐵道	地理(大塚)、1巻、2号		1938.7
武見芳二	北支那農業の特異性と其の将来(1)(2)	地理教育、29巻、2号 3号		1938 11.12
寺尾博	北支の農業地理	地学雑誌、支那号第2		1938.11
鄭佩剛	京漢沿線農村雜記	満鉄調査月報、19巻 (1)(2)(3)		1939
		4号、5号、6号		
江沢讓爾	農業を通じて見る北支 経済空間の特徴	地理学、7巻、5号		1939
田中啓爾	北支に於ける英米の権益	地理(大塚)、2巻、4号		1939.10
村上捨己	北支農業生産力展開史に 関する若干の考察	満鉄調査月報、20巻 8号		1940
岸本光男	北支における大豆概況	満鉄調査月報、20巻 11号		1940
石井俊之	北支における自作農	満鉄調査月報、20巻 12号		1940
村上拾己	北支農業經營に於ける作物の編成とその商品化 —特に山東省惠民県孫家廟を中心として—	満鉄調査月報、21巻 6号		1941
服部満江	北支に於ける葉煙草栽培 普及事情	満鉄調査月報、22巻 3号		1942

著者名 論文名 雑誌, 卷, 号 (書籍名) (発行所) 刊行年(月)

米倉二郎 支那中原の展開 東亜経済研究、26卷 1942
3号

和田憲夫 華北に於ける村落の発生 地理学、11卷、2号
と山西移民 1943

(5) 山西省に関するもの

著者名 論文名 雑誌, 卷, 号 (書籍名) (発行所) 刊行年(月)

大平正美 山西省經濟事情 满鉄調査月報、16卷、1号 1936

小林伍一郎 山西縦走記 (1-4) 地理学、5卷、4号、8号
10号、11号 1937

小林伍一郎 縱山西縦走記 地理学、6卷、4号、6号
7号 1938

鳥山喜一 追憶の山西 地理教育、28卷、5号 1938.8

花井重次 大同市と大同炭田の現況 地理(大塚)、2卷、3号 1939.7

調査部第4調査 山西省鉱産資源概要 满鉄調査月報、19卷
室 12号 1939

保柳睦美 山西台地 「世界地理、第3卷、
支那I、北支」 河出書房、1940.1

平野虎雄 山西に於ける織布業に就 满鉄調査月報、21卷
山本達弘 いて 10号 1941

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
村上捨己	山西省に於ける作物の編成に関する若干の考察	満鉄調査月報、21巻 11号	1941
当山道三	山西の黄土窟	地理学、10巻、1号	1942
浅井辰郎	山西省の気象	地理学、10巻、10号	1942
木内信藏	山西の自然と人	地理学、10巻、10号	1942
和田憲夫	山西省の農業地理	地理学、10巻、10号	1942
新井浩	山西、山村の生活	地理学、10巻、10号	1942
佐藤正巳	山西の植生	地理学、10巻、10号	1942
平野三郎	山西の棉花	地理学、10巻、10号	1942
直江広治	山西の風俗	地理学、10巻、10号	1942
吉村信吉	山西省の陸水	地理学、10巻、10号	1942
多内文男	五台山	地理学、10巻、10号	1942
花井重次	中条山脈	地理学、10巻、10号	1942
浅井辰郎	五台山東台に於ける気象観測	地理学、10巻、11号	1942
佐藤正巳	五台山の植物帶	地理学、10巻、11号	1942
木内信藏	北支山西省の地方都市について	地理学評論、19巻 3号	1943

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号 (書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
新井 浩	山西旅行談 (短報)	地理学評論、19卷、3号		1943
木内信藏	北支山西省の人口及び土地利用問題	地学雑誌、支那号第20		1943. 4
多田文男	山西省に於ける乾燥度と内陸盆地群	地学雑誌、支那号第21		1943. 5
保柳睦美	山西農業の自然環境	「北支、蒙古の地理」 古今書院		1943
菅野一郎	山西省解県盆地の水質と土壤 (演旨)	地理学評論、21卷 4. 5. 6. 合併号		1948. 3
中島寿雄	山西の製鉄遺跡と土法製鉄に就いて	資源研報、11号 (31-35)		1948.12
浅井辰郎	高地の微細気象 - 五台山の例	資源研報、12号 (47-49)		1948.11
浅井辰郎	五台山に於ける高山気象 観測報告 (演旨)	地理学評論、21卷 9. 10. 11. 合併号		1948.12
新井 浩	華北山西省北部五台県城内外	社会地理、26号		1950

(6) 諸地方の経済、交通、都市

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号 (書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
満鉄資料課	張家口事情	満鉄調査月報、15卷 8号		1935

著者名 論文名 雜誌、巻、号(書籍名) (発行所)刊行年(月)

水野 薫 山東省中部山地帯に於ける農業事業 満鉄調査月報、15巻
11号 1935

満鉄資料課 河北省定県に於ける農村 経済 満鉄調査月報、16巻
1号 1936

石井正泰 長蘆塩田調査 満鉄調査月報、16巻、2号 1936

中西功 河北農村経済の概況 (1)(2) 満鉄調査月報、18巻
1号、4号 1938

小林伍一郎 古北口二題、其1、通過 地理学、6巻、8号
貿易篇 9号、10号、11号 1938

小林伍一郎 関口聚落としての古北口 地理学、7巻、9号
—古北口二題、其2— 1939

木内信藏 北京の景観(演旨) 地理学評論、15巻、2号 1939

千田英夫 北京を中心とする駱駝について 満鉄調査月報、19巻
3号 1939

木内信藏 北京の都市形態概報 地理学評論、15巻、3号 1939

川村和嘉治 北京都市計画の側面観 都市問題、28巻、3号 1939.3

国島秀雄 河北省の人口 地理(大塚)、2巻、2号 1939.4

吉田美之 天津の毛織工業 満鉄調査月報、19巻、8号 1939

和田憲夫 北京市朝陽門に於ける交通調査 地理学、9巻、11号 1941

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号(書籍名)	(発行所) 刊行年(月)
堀内清雄 富永一雄	山東省濰県に於ける織布業の変遷	満鉄調査月報、22卷 1号	1942
堀内清雄	青島を中心とする戎克貿易事情	満鉄調査月報、22卷 9号	1942
堀内清雄	青島に於ける船行事情 (上)(下)	満鉄調査月報、22卷 11号、12号	1942
科野孝藏	山東省博山県の陶瓦業 (短報)	地理学評論、19卷 2号	1943
後藤文治	海県に於ける綿紡業 (上)(中)(下)	満鉄調査月報、23卷 6号、7号、8号	1943
岸本光男	山東省臨清県農村実態 調査報告(1)(2)	満鉄調査月報、23卷 6号、7号	1943
樺山幸雄	山東省臨清県布業概況	満鉄調査月報、23卷 7号	1943
須藤賢	大運河沿岸都市の形態	人文地理、2卷、3号	1950. 7

(7) 地方誌、紀行、その他

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号(書籍名)	(発行所) 刊行年(月)
松村瞭	最近発見の周口店最新世 人類とその文化－北京人 類以後の古人類－	地理教育、22卷、4号	1935. 7

著者名 論文名 雜誌、巻、号(書籍名) (発行所) 刊行年(月)

- 保柳睦美 北支旅行談(演旨) 地理学評論、14巻、8号 1938
- 田中館秀三 山東省 「世界地理、第3巻、支 河出書房、1940. 1
那 I、北支」
- 西山栄久 塞甘地方 「世界地理、第3巻、支 河出書房、1940. 1
那 I、北支」
- 神尾明正 沙子口(山東省)の一瞥 地理学評論、17巻 1941
(短報) 9号
- 藤田元春 萬里長城の教訓 「地理論叢」(京大) 古今書院、1942
第12輯
- 神尾明正 河北省井陥県南峪の穴居 地理学評論、19巻 1943
(短報) 12号
- 神尾明正 青島市興安路貝塚の先史 地理学評論、21巻 1948.12
地理(演旨) 9.10.11.合併

論 文 (D)

IV 華 中・華 南

(1) 自然関係

著者名	論 文 名	雑誌 卷, 号 (書籍名)	(発行所) 刊行年 (月)
満鉄資料課 鉱業	支那に於けるアンチモニ一 満鉄調査月報、16卷、10号		1936.
多田 文男	揚子江流域の地形発達史	地理教育、28卷、5号	1938. 8
大谷 東平 山田 三朗	東支那海南部に独立して發 生する低気圧に就いて	気象集誌、2輯、16卷、 7号	1938.
山根 新次	中北支の地質と地下資源	地学雑誌、支那号第1	1938. 9
速水頌一郎	中揚子江の流量と湖南の諸 水	陸水学雑誌、8卷、3, 4号	1938.12
三野 与吉	大揚子沙堆附近の地形	地理(大塚)、2卷、2号	1939. 4
堀 清一	中支南部及南支那に於ける 低気圧発生の機構に就いて	気象集誌、2輯、17卷、 8号	1939.
渡辺 光	(中南支の) 地形、地質	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 中南支」	1940. 8
福井英一郎	中南支の気候	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 中南支」	1940. 8
吉村 信吉	揚子江河川誌	「支那地理大系、自然環境篇」日本評論 社	1940.
吉村 信吉	東支那海海洋誌	「支那地理大系、自然環境篇」日本評論 社	1940.
橋本 清美	冬季東支那海南部に發生す る低気圧に就いて	気象集誌、2輯、18卷、 11号	1940.
上田 信三	江南平野の地形誌	地理学、9卷、10号	1941.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
渡辺 光	中支の選択浸蝕に基く地形	地理学評論、17卷、16号		1941.
(演旨)				
石井 清彦	海南島の地質、鉱産	地学雑誌、支那号第15		1942. 2
渡辺 光	中南支那東部の地形	地学雑誌、支那号第16		1942. 4
島倉巳三郎	杭州西湖の湖底堆積物	科学、13卷、5号		1943.
糟谷 恒雄				
富田 芳郎	海南島の地形学的課題	地理学評論、20卷、2号		1944.

(2) 土地利用、経済、交通

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
富田 芳郎	南支那の都市の景観地理 (1)(2)	地理教育、23卷、1号, 2号		1935.10. 11
富田 芳郎	南支那の村落居住景観に就いて (1)(2)	地理学、4卷、9号, 10号		1936.
上海事務所 調査室	中支占領地区に於ける農業 及び工業	満鉄調査月報、18卷、4号		1938.
藤田 元春	揚子江とその文化	地理教育、28卷、5号		1938. 8
上海事務所 調査室	中支農作物の農耕事情	満鉄調査月報、20卷、1号		1940.
上海事務所 調査所	西南開発と新興工業	満鉄調査月報、20卷、4号		1940.
内田 寛一	中南支の意義	「世界地理、第4卷、支那II、河出書房 中南支」		1940. 8
小竹 文夫	支那民族の開墾治田形態 (閑田又は耕田を中心とした)	支那研究、(東亞同文)、 58号		1941. 3

著者名	論 文 名	雑誌 卷, 号 (書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
岸本清三郎	中支水稻増産の基本的諸問題 題	満鉄調査月報、21卷、7号		1941.
吉田 敬市	中支と南支とを結ぶ内陸水 運と靈渠運河	地理学、9卷、11号		1941.
吉田 敬市	揚子江と珠江とを結ぶ靈渠 水運に就いて (演旨)	地理学評論、17卷、16号		1941.
吉村 信吉	水田の分布から見た北支と 中南支の境界線	地理学研究、1卷、1号		1942.
芝池 靖夫 手島 正毅	中支に於ける民船の經營	満鉄調査月報、22卷、3号		1942.
室賀 定信 訳	中支に於ける蚕糸業 (劉大鈞) (1)(2)	満鉄調査月報、22卷、6号 7号		1942.
福田 良久	中支の洋龍船に就いて	満鉄調査月報、22卷、8号		1942.
蔽内 芳彦	中支景観点描	「地理論叢 (京大)」第13輯	古今書院	1943.

(3) 諸地方の経済、交通、集落

著者名	論 文 名	雑誌 卷, 号 (書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
波多野善大	三峡の險を越えて (1)(2)	地理学、3卷、4号, 6号		1935.
満鉄資料課	廣東農村の生産關係と生産 力 (陳翰生)	満鉄調査月報、15卷、6号		1935.
満鉄資料課	上海に於ける製油工場	満鉄調査月報、15卷、6号		1935.
中野竹四郎	上海 (1)(2)	地理教育、24卷、4号, 5号		1937.10. 11
米倉 二郎	首都としての南京	地理教育、26卷、1号, 2号		1937.4. 5

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
増田 忠雄	上海都市景観 (1)(2)	地理教育、27卷、2号, 3号		1937.1.1. 12
馬場鉢太郎	上海市の沿革とその特殊性	都市問題、25卷、6号		1937.1.2
小竹 文夫	揚子江下流江南の地理と人 文	都市問題、26卷、2号		1938. 2
米倉 二郎	揚子江三角洲平野の開発と クリークの展開	史林、23卷、2号		1938.
米倉 二郎	揚子江三角洲平野に於ける クリークと聚落	地理教育、28卷、2号, 3号		1938. 5. 6.
上田 信三	上海市概説	地理教育、28卷、5号		1938. 8
小林 知生	南支那の過去と広東人の特 質	地理教育、28卷、5号		1938. 8
白井 行幸 訳	広西省の経済 (1)(2)	満鉄調査月報、18卷、 11号, 19卷, 1号		1938. 1934.
大村 一藏	四川省の巴蜀盆地と塩井と 油井	地理教育、29卷、4号		1939. 1
小林儀一郎	四川省の石油	地学雑誌、支那号第5		1939. 5
佐藤 晴生 訳	四川省の経済的概観	満鉄調査月報、19卷、 10号		1939.
上田 信三	揚子江三角洲に於ける經濟 地理研究(予報) (演旨)	地理学評論、16卷、1号		1940.
上海工部局	上海に於ける工業概観	満鉄調査月報、20卷、3号		1940.
荒木 孟	上海の新都市建設計画	都市問題、30卷、4号		1940. 4
松沢 敏	四川省の地質と鉱産	地学雑誌、支那号第8		1940. 5
上田 信三	日支事変前に於ける上海 經濟の重要性及其復興概 況 (演旨)	地理学評論、16卷、6号		1940.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
織田 武雄	四川省の桐油(演旨)	地理学評論、16卷、6号		1941.
上田 信三 訳補	安徽の人口密度と農業区 域(胡煥庸)	地理教育、32卷、3号		1940. 6
浅香 幸雄	揚子江デルタの聚落	地理教育、33卷、1号		1940.10.
松野 義武	江蘇省南部における水稻作 の技術的研究	満鉄調査月報、21卷、4号		1941.
浅香 幸雄	揚子江デルタの聚落名に就 いて(演旨)	地理学評論、16卷、11号		1940.
大角 発郎 訳	河南省の綿業(胡竟良)	満鉄調査月報、20卷、9号		1940.
小野 忍	無錫の製糸業	満鉄調査月報、21卷、10号		1941.
福田 良久	武漢地区に於ける牲畜事情 (生牛及び豚に就いて)	満鉄調査月報、21卷、11号		1941.
小野 忍	蘇州の紗綢業	満鉄調査月報、22卷、6号		1942.
上海事務所 調査室 訳	常州(武進)に於ける織布 工業	満鉄調査月報、22卷、10号		1942.
小野 忍	杭州の絹織物業(以下)	満鉄調査月報、22卷、2号 , 4号		1943.
富田 芳郎	南支那の聚落	「太平洋圏」(太平洋協会)	河出書房	1944.
河野 通博	清代に於ける湖北省の洪水	人文地理、1卷、2号		1948.
佐々 久	明代における江蘇省山陽の 繁榮	東北地理、1卷、2号		1949. 3
西山 武一	明代江南田主小考	農業綜合研究、臨増号、 (通巻12号)		1950.

(4) 地方誌 その他

著者名	論文名	雑誌 卷、号(書籍名)	(発行所) 刊行年(月)
綿貫 勇彦	揚子江下流地方	地理教育、28卷、5号	1938. 8
富田 芳郎	廈門島、付、金門島	地理教育、28卷、5号	1938. 8
井上 修次	海南島地誌	地理教育、28卷、5号	1938. 8
小林儀一郎	巴蜀盆地	地学雑誌、支那号第3	1939. 1
上田 信三	揚子江三角洲	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 1940. 8 中南支」	
西山 栄久	揚子江下流	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 1940. 8 中南支」	
村松 繁樹	湖広盆地	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 1940. 8 中南支」	
北田 宏藏	四川盆地	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 1940. 8 中南支」	
田中 啓爾	閩粵地方	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 1940. 8 中南支」	
岩田 孝三	雲貴高原	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 1940. 8 中南支」	
井上 修次	海南島	「世界地理、第4卷、支那Ⅱ、河出書房 1940. 8 中南支」	
仁瓶 平二	海南島の管見	地理教育、32卷、3号	1940. 6
富田 芳郎	海南島記 —台湾との比較に於て—	地理学、10卷、2号	1942.
須藤 万治	西沙群島	地理学、10卷、2号	1942.

論 文 (E)

蒙古、辺疆

(1) 自然関係(a)主として内蒙古

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
-----	-----	-------------	-------------

- | | | | |
|-------|----------------------------|----------------------|---------------|
| 花井重次 | 蒙古の地形 | 地理教育、28巻、5号 | 1938. 8 |
| 花井重次 | 陰山断層崖の展望 | 地理(大塚)、2巻、1号 | 1939. 1 |
| 多田文男 | 地理学的に見た内蒙古 | 「蒙疆の自然と文化」
(京城帝大) | 古今書院。1939 |
| 波多江信彦 | 蒙疆の地質と地下資源 | 「蒙疆の自然と文化」
(京城帝大) | 古今書院。1939 |
| 森為三 | 蒙疆地方の動植物 | 「蒙疆の自然と文化」
(京城帝大) | 古今書院。1939 |
| 上治寅次郎 | 蒙疆地域に於ける鉱産資源 | 地理教育、32巻、2号 | 1940. 5 |
| 多田文男 | 蒙古高原と満州平野中部
との地形的相似(演旨) | 地理学評論、16巻
6号 | 1940 |
| 大塚彌之助 | 蒙疆大同市東南の第4紀
火山の地質時代に就いて | 地学雑誌、支那号第9 | 1940.10 |
| 花井重次 | 蒙古の地質と地形 | 「支那地理大系、自然環境篇」 | 日本評論社
1940 |

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号(書籍名)	(発行所)刊行年月
多田文男	蒙疆地方の地形	「世界地理、第5卷、支那号、辺疆」	河出書房、1941.2
花井重次	蒙古の地質及び地体構造	「世界地理、第5卷、支那号、辺疆」	河出書房、1941.2
保柳睦美	北支、内蒙古の気候乾燥化並びに沙漠拡大に関する従来の研究	地学雑誌、支那号第11	1941.3
遠藤六郎	蒙疆における鉱産資源	地学雑誌、支那号第11	1941.3
高橋基生	沙漠に対する植物生態学的見解(1)(2) —内蒙古乾燥地域調査報告 I —	科学、11卷、3号、5号	1941
高橋基生	黄土・砂土両地域の実驗生態学的比較研究(1)(2)(3) —内蒙古乾燥地域調査報告 II —	科学、11卷、10号 12卷、13号	1941
根来健一郎	内蒙古鹹湖の藻類相に就いて(演旨)	陸水学雑誌、11卷	1941
多田文男	内蒙古渾善達克砂丘地帯の地理学的調査	地学雑誌、支那号第15	1942.2
大塚彌之助	渾喜達克沙漠の地質略報	地学雑誌、支那号第15	1942.2
保柳睦美	内部アジアに於ける砂丘の變遷に就いて	地理学評論、18卷 10号、「北支蒙古の地理」古今書院、1943	1942

著者名 論文名 雑誌、巻、号(書籍名) (発行所) 刊行年(月)

花井重次 大青山断層崖の性質に就いて 地理学評論、20巻、1号 1944

中野尊正 厚和周辺の地形と楊柳榆の黄葉 地理学評論、20巻、6号 1944

徳田御総 内蒙古の生物地理学的区分 資源研報、7号 1944.10

中野尊正 内蒙古中部の農業地理 資源研報、7号 1944.10

多田文男 内陸砂丘の生成 資源研報、10号 1946.12

梅棹忠夫 グンシャンダク砂丘地帯(演旨) 地理学評論、21巻、2号 1947.10

中尾佐助 植物から見たゴビ(演旨) 地理学評論、21巻、2号 1947.10

川喜多二郎 農業林業の北限及び馴鹿飼養の南限などを画する気候的境界線について 自然と文化、1巻、1号 1950

(2) 自然関係(b)主として辺疆

著者名 論文名 雑誌、巻、号(書籍) (発行所) 刊行年(月)

大塚彌之助 北西蒙古の地質構造の知識 地学雑誌、支那号第7 1940. 1

著者名 論文名 雜誌、巻、号(書籍) (発行所) 刊行年(月)

高橋基生 北部東亜大陸を一括せる 地理学、8巻、
植物生態学的研究(1)-(ii) 1—11号 1940

服部信彦 西北地区邊疆の地形 「支那地理大系、自然 環境篇」 日本評論社
1940

石戸谷勉 北亞細亜の植物資源 「大陸文化研究」 岩波書店、1940
(京城帝大)

森為三 北亞細亜の動物 「大陸文化研究」 岩波書店、1940
(京城帝大)

福井英一郎 支那邊疆地方の気候 「世界地理、第5巻 河出書房、1941. 2
支那Ⅱ、邊疆」

保柳睦美 塔里木盆地に於ける有史以来の気候変化に関する諸説 地理学、7巻、6号
7号 「北支・蒙古の地理」 古今書院、1943.

竹中要 東亜乾燥地帯の植物景観 「統大陸文化研究」 岩波書店、1943
(京城帝大)

荒川秀俊 内部アジア乾燥化の問題 地理学評論、19巻
(短報) 12号 1943

小林貞一 外蒙地質に関する研究 資源研報、3号 1943.10

竹原四郎 (訳) 蒙古人民共和国中央部の地質に関する新資料 (ヴ
エ・カ・チャイコフスキ
ー)

著者名 論文名 雜誌, 卷, 号 (書籍名) (発行所) 刊行年(月)

竹原四郎 ゴビアルタイ地方の地質
(訳) 資源研報、5号
構造と地史 (ア・ア・マ
ツカベエエフ)

1944. 3

川田三郎 雲南の地形と地質 (ウイ
(訳) 資源研究、5号
ルヘルム・クレドナー)

1944. 3

中野尊正 鳥類相より見た北部蒙古 地理学研究、3号
(抄訳) の動物地理 (トウガリノ
フ)

1944. 6

(3) 内蒙古の住民、土地利用、経済
(付) 包頭付近の調査

著者名 論文名 雜誌, 卷, 号 (書籍名) (発行所) 刊行年(月)

浜田清吉 蒙古人の生活素描 地理学、3卷、4号

1935

満鉄資料課 察哈爾経済事情(1)(2) 满鉄調査月報、15卷
3号、4号

1935

満鉄資料課 察哈爾及綏遠省の商工業 满鉄調査月報、15卷
(付、察哈爾省内の蒙民 12号
の経済生活)

1935

桑名彌五郎 包寧鉄道沿道経済事情概況 满鉄調査月報、15卷
12号

1935

近藤浩 察哈爾省の農業 满鉄調査月報、16卷
2号

1936

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
満鉄資料課	支那羊毛の現況	満鉄調査月報、16巻 9号	1936
倉持博	蒙疆地区経済概観	地理教育、28巻、5号	1938.8
武見芳二	蒙疆地域とその羊毛の将来 來	地理(大塚)、1巻 3号	1938.10
岸本清三郎	陰山山脈北部に於ける農業事情	満鉄調査月報、18巻 12号	1938
安齋庫治	清末に於ける綏遠の開墾 (1)(2)(3)	満鉄調査月報、18巻 12号、1号、2号	1938 1939
包頭公所	鄂爾多斯概説	満鉄調査月報、19巻 3号	1939
多田文男	蒙疆の地理	地学雑誌、支那号第5	1939.5
西北研究所	後套(五原及臨河)事情	満鉄調査月報、19巻 5号	1939
下田礼佐	蒙古族の今昔	地理教育、30巻、6号	1939.9
多田文男	蒙疆地方に於ける漢蒙両民族交界地方を横断して	地理学、7巻、8号	1939
安齋庫治	清末に於ける土默特の土地整理	満鉄調査月報、19巻 12号	1939
武見芳二	蒙古人と羊毛	地理教育、32巻、2号	1940.5

著者名 論文名 雑誌、巻、号(書籍名) (発行所) 刊行年(月)

- 多田文男 内蒙古に於ける農耕地帯 「大陸文化研究」 岩波書店、1940
と遊牧地帯の境界線とその移動 (京城帝大)
- 伊藤郷平 蒙疆地方都邑の地理的性 地理教育、33巻、3号 1940.1.2
格と新都市構造
- 保柳睦美 蒙疆地方の人文地誌 「世界地理、第5巻、支那Ⅰ、辺疆」 河出書房、1941.2
- 田中啓爾 北支蒙に於ける英米の文化勢力圏 地理(大塚)、5巻、1号 1943.6
- 小川久男 蒙古駅站とその土地關係 満鉄調査月報、23巻 1943
に就いて 8号
- 横尾安夫 蒙古民族の研究 「蒙古高原・前篇」 東亜考古学会、1943
- 多田文男 内蒙古の遊牧 社会地理、7号 1948
- 包頭公所 包頭付近の農村事情 満鉄調査月報、19巻 1939
1号
- 安齋庫治 包頭の絨毯業 満鉄調査月報、19巻 1939
5号
- 安齋庫治 包頭に於ける黒皮房(1)(2) 満鉄調査月報、19巻 1939
10号、11号

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
小川久男	包頭に於ける皮毛店、皮 荘—内蒙に於ける商業資 本の特質に関する —研究—(1)(2)(3)(4)	満鉄調査月報、21巻 7号、8号、11号。 12号		1941
新庄憲光	包頭の蔬菜園芸農業に於 ける灌漑—包頭東河村実 態調査報告—(1)(2)	満鉄調査月報、21巻 9号、10号		1941
小川久男	包頭に於ける貨店—内蒙 古に於ける商業資本の特 質に関する—研究—(上)(下)	満鉄調査月報、23巻 10号、11号		1943
相村大彬	包頭鎮税物碑記について —包頭の地理的位置の研 究—	新地理、4巻、2号		1950. 2

(4) 辺疆の経済、地方誌、その他

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
満鉄資料課	新疆省の現状	満鉄調査月報、15巻 4号		1935
満鉄資料課	西北經濟概況、(1)(2)	満鉄調査月報、15巻 5号、6号		1935
中島満洲夫	外蒙共和国の現状	地理学、4巻、1号		1936
河口慧海	西藏国の地勢と名義	地理学、4巻、8号		1936

著者名	論文名	雑誌、巻、号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
河口慧海	危機に直面する西藏とその内実	地理学、4巻、10.A号		1936
別技篤彦	支那西北邊疆地方の經濟地理	地理教育、28巻、5号		1938.8
西山栄久	雲南省の現状	地理教育、28巻、5号		1938.8
増田忠雄	中亞横断自動車路とその調査事業	満鉄調査月報、18巻 9号		1938
満鉄資料課	支那奥地の經濟開発	満鉄調査月報、19巻 2号		1939
安田薰	西北貿易に関する一考察	満鉄調査月報、19巻 4号		1939
三橋富治男	支那の西北邊疆、青海、新疆	地理教育、32巻、2号		1940.5
横尾安夫	支那邊疆地帯の民族	地理教育、32巻、2号		1940.5
江上波夫	支那邊疆探検史の1頁 (1)(2)	地理教育、32巻、2号 6号		1940.5.9.
服部信彦	タリム盆地	「世界地理、第5巻、支那Ⅱ、邊疆」	河出書房	1941.1
渡辺光	ゾンガリアとクルデヤ	「世界地理、第5巻、支那Ⅱ、邊疆」	河出書房	1941.2

著者名	論文名	雑誌, 卷, 号 (書籍名)	(発行所)	刊行年月
村松繁樹	西康省	「世界地理、第5卷、支那Ⅰ、辺疆」	河出書房	1941. 2
村松繁樹	青海省	「世界地理、第5卷、支那Ⅰ、辺疆」	河出書房	1941. 2
池田正友	蒙古人民共和国	「世界地理、第5卷、支那Ⅰ、辺疆」	河出書房	1941. 2
綿貫勇彦	西藏	「世界地理、第5卷、支那Ⅰ、辺疆」	河出書房	1941. 2
池田正友				
保柳睦美	塔里木盆地の歴史地理観 え書	地理学、10卷、2号		1942
保柳睦美	ゴビ沙漠の探検	地理学、10卷、8号 「北支、蒙古の地理」	古今書院	1942 1943
保柳睦美	ロブ・ノールの変遷	「北支、蒙古の地理」	古今書院	1943
北支經濟調査所 訳	西北の農業	満鉄調査月報、23卷 9号		1943

付録 1. 朝鮮半島、台灣に関する地理学的研究論文目録

(1935~1950)

I 朝 鮮 半 島

II 台 湾

〔注〕 朝鮮半島と台湾については、まだ調査が不十分であるし、ことに総督府から発行された資料の中に、地理学的にも重要な文献がいくつもあつたと記憶する。

これらについては、よく調査するまでには至っていないので、書籍類は別の機会にゆずることとし、差し当つて、主として雑誌類に掲載された論文の中で、わかつているものだけを掲げる。

I 朝鮮半島

(1) 自然関係

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
多田 文男 (演旨)	朝鮮蓋馬台地の地形	地理学評論、11卷、7号	1935.
多田 文男	咸鏡北道吉州南大川流域の地形と人文	朝鮮地質見学案内書、No.4	1935.
多田 文男 井上 修次	咸鏡北道吉州郡南大川上流地域の地形	朝鮮地質見学案内書、No.5	1935.
渡辺万次郎	地学上から見た朝鮮金剛山	地理教育、22卷、6号	1935. 9
多田 文男 (演旨)	朝鮮蓋馬台地の地形	地理学評論、11卷、7号	1935.
中村新太郎	西部平壠炭田の地質構造概説	地球、24卷、3号	1936.
多田 文男	朝鮮の火山	地理教育、24卷、6号	1936. 9
多田 文男 (演旨)	朝鮮に於ける田畠の分布と洪水と地形発達史の関係	地理学評論、12卷、4号	1936.
鹿野 忠雄 就いて(演旨)	朝鮮北部山地の氷蝕地形に就いて	地理学評論、12卷、12号	1936.
鹿野 忠雄 就いて	朝鮮東北部山地氷河地形に就いて	地理学評論、13卷、12号	1937.
多田 文男	鴨緑江築入曲流帯の滑走斜面に就いて(演旨)	地理学評論、14卷、4号	1938.
室井 渡	清津府附近に於ける地下水について	地学雑誌、50卷、596号	1938.10
山崎 次男	花粉分析による朝鮮南部の樹種変遷に関する考察	林学会誌、22卷、1号	1940.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
多田 文男	朝鮮半島の地形(演旨)	地理学評論、17卷、6号		1941.
竹内 亮	長白山	地理学、9卷、3号		1941.
洪 慶 姫	大邱西郊、臥龍山 鍋状地 に就いて	地理学、9卷、3号		1941.
吉川 虎雄	朝鮮半島中部の地形発達史	地質学雑誌、53卷、 616—627号		1947.
松野満寿己	朝鮮の農業気候	産業気象調査報告、12号 1号		1948.
仲松 彌秀	南鮮平頂峯上の土地利用	地理学評論、22卷、1号		1949. 6
吉川 虎雄	岩石扇状地に関する2, 3 の疑問	地理学評論、22卷、12号		1950. 3

(2) 土地利用、経済

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
酉水 孜郎	朝鮮の農村に於ける土地利 用	地理学評論、12卷、12号		1936.
舛田 一二	濟州島南北斜面の地理的對 比(演旨)	地理学評論、13卷、6号		1937.
青野 寿郎	朝鮮半島の水産業	地理(大塚) 2卷、1号		1939. 1
竹内 常行	朝鮮の堤堰(溜池)に就い て(演旨)	地理学評論、16卷、11号		1940.
三好 憲之	朝鮮黃海道に於ける水稻栽 培の地理学的研究	地理教育、33卷、3号		1940.12
堀内 延一	北鮮の市場	地理学、9卷、11号		1941.

行年(月)

大内 武次 朝鮮の経済的発展	地理学研究、1巻、5号	1942.
浅香 幸雄 中鮮に於ける畜牛の移動 (予報)	地理(大塚)、5巻、4号	1943. 9

(3) 人口、集落、地方誌 その他

著者名	論 文 名	雑誌 卷, 号 (書籍名)	(発行所) 刊行年(月)
井上 修次 朝鮮半島の人口増加状態 (予報) (演旨)	地理学評論、11巻、1号		1935.
桝田 一二 済州島の人口移動に関する 地理学的研究 —主として内地出稼に就い て— (演旨)	地理学評論、11巻、1号		1935.
武見 芳二 京団線の全通と東北朝鮮の 三港 (1~4)	地理学、3巻、1号, 2号 , 3号, 4号		1935.
井上 修次 朝鮮吉州南大川上流地域の 居住状態 (演旨)	地理学評論、11巻、8号		1935.
桝田 一二 済州島人の内地出稼に就い て	「大塚地理学論文集」 第5輯	古今書院	1935.
多田 文男 済州島と鬱陵島	地理教育、24巻、2号		1936. 5
榛葉 孝平 朝鮮に於ける都市計画の特 異性	都市問題、27巻、5号		1938.11
桝田 一二 済州島の聚落の地誌学的研 究 (第1報、第2報) 2号	地理(大塚)、2巻、1号, 2号		1939. 1. 4
浅香 幸雄 朝鮮開城の歴史地理	地理学、10巻、10号		1942.
浅香 幸雄 朝鮮湖南地方の人口増減 (演旨)	地理学評論、20巻、1号		1944. 1

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
-----	-----	------------	-------	--------

浅香 幸雄	朝鮮の移居慣習(第1報) (演旨)	地理学評論、21卷、4, 5 , 6合併号		1948. 3
-------	----------------------	--------------------------	--	---------

台 湾

(1) 自然関係

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)	刊行年(月)
-----	-----	------------	-------	--------

田中 黙	台湾 新 連峯に於ける氷河 地形の疑に就いて (演旨)	地理学評論、11卷、1号		1935.
------	--	--------------	--	-------

鹿野 忠雄	台湾次高山 東 に於ける氷河 地形研究(第1報。5)	地理学評論、11卷、3号		1935.
-------	--	--------------	--	-------

富田 芳郎	台湾縦谷に隨伴する分離丘 陵列に就いて	台湾地学記事、6卷、2, 3 号		1935.
-------	------------------------	---------------------	--	-------

早坂 一郎	台中新竹両州下の地震に就 いて	台湾地学記事、6卷、6号		1935.
-------	--------------------	--------------	--	-------

早坂 一郎	4月21日の新竹、台中地 震に就いて	台湾地学記事、6卷、7, 8 号		1935.
-------	-----------------------	---------------------	--	-------

富田 芳郎	曾文溪中流地域のマイナー ・スラストとイントラフォ ーメイショナル・コルゲー ションとに就いて	台湾地学記事、6卷、9号		1935.
-------	--	--------------	--	-------

宮地伝三郎	台湾の湖沼とその生物 (台湾の陸水、第1報)	陸水学雑誌、5卷(71—86)		1935.11
-------	---------------------------	-----------------	--	---------

市村 穎	台湾火燒島の地質	火山、3卷、1号		1936.
------	----------	----------	--	-------

鹿野 忠雄	紅頭嶼生物地理学に関する 諸問題 (1), (2), (3), (4), (5), (6), (7)	地理学評論、11卷、11号 , 12号 12卷、1号, 2号, 10号, 11号, 12 号		1935. 1936.
-------	--	---	--	----------------

内田 勲	台南市の微気候	「石橋博士記念論文集」(京 古今書院 大地理論叢、第8輯)		1936.
------	---------	----------------------------------	--	-------

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
樺沢 実	台北に於ける雲量及気圧の 日変化に就いて	気象集誌、2輯、14卷、 4号	1936.
富田 芳郎	大甲溪上流地域の河蝕地形 に就いて(台湾地形発達史 資料、第1報)	台湾地学記事、8卷、1—2 号	1937.
庄司 久孝	新竹州草廻の砂丘 (1)(2)	台湾地学記事、8卷、3—4 号	1937.
丹 桂之助	台北盆地の鑿井資料と その考察	台湾地学記事、8卷、 10—11号	1937.
富田 芳郎	淡水河河岸段丘の地形面対 比に就いて(台湾地形発達 史資料、第2報)	台湾地学記事、8卷、 10—12号	1937.
宮地伝三郎	台湾の湖沼の冬季概況 (台湾の陸水、第4報)	陸水学雑誌、7卷、1号	1937. 3
田中 薫	台湾高山地帯の積雪に就い て(演旨)	地理学評論、13卷、6号	1937.
宮地伝三郎	台湾の湖沼の水温観測資料	地球、27卷、6号	1937. 6
市村 豪	台湾に於ける火山活動に就 いて	火山、4卷、1号	1938.
富田 芳郎	台湾に於ける層階地形に就 いて	地理学、6卷、6号	1938.
富田 芳郎	台湾の渓谷内に在る扇状地 に就いて	地理学評論、14卷、10号 10号	1938.
正宗 厳敬	台湾の高山植相とその起源	地理学評論、14卷、7号	1938.
富田 芳郎	淡水河上流渓谷に於ける尾 根上平坦面に就いて(台湾 地形発達史資料、第5報)	台湾地学記事、9卷、4号	1938.12
本田 武夫	台湾の地形学的研究	地理学評論、15卷、6号	1939.

- 岡田 武松 台湾の気候は暑いと云うことに就いて 地理教育、30卷、4号 1939. 7
- 富田 芳郎 台湾に於ける地形面の対比 日本学術協会報告、14卷 3号 1939.
- 富田 芳郎 南部台湾知本越及浸水當越に於ける河谷地形の観察（台湾地形発達史資料、第6報） 台湾地学記事、10卷、2号 1939. 7
- 斎藤 疎 台湾に於ける山脈の名称に就いて 地理学、8卷、3号 1940.
- 村田 貞藏 台湾タツキリ溪の谷形 地理学評論、17卷、6号
川田 三郎 (演旨) 1941.
- 川田 三郎 台湾タツキリ溪の河岸段丘 地理学評論、17卷、8号,
(1)(2) 9号 1941.
- 富田 芳郎 台湾の近世地形発達史概説 地理学、9卷、6号 1941.
- 川田 三郎 台湾の地形に関する若干の記録 地理学評論、19卷、1号 1943.
- 川田 三郎 台湾の新震生湖 陸水学雑誌、13卷 1943.
- 川田 三郎 台湾北東部諸渓の水質 陸水学雑誌、13卷 1943.
- 川田 三郎 台南州斗六郡草廟の震生湖 震研彙報、21号 1943. 6
- 富田 芳郎 台湾の河谷に於ける環流丘 地理学評論、21卷、3号
陵に就いて 1948. 1
- 富田 芳郎 台湾埔里盆地群の地形発達 (演旨) 地届学評論、22卷、3, 4
, 5合併号 1949. 9

(2) 人文地理

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
鹿野 忠雄	台灣次高山帯を境としたる タイヤル族山地居住形態の 差異(演旨)	地理学評論、11卷、1号	1935.
能登 志雄	大屯火山地方の水田の階段 耕作景に就いて	台灣地学記事、6卷、1号	1935.
富田 芳郎	台灣に於ける合成聚落とし ての麻豆及佳里(1)(2)	地理学評論、11卷、6号, 7号	1935.
富田 芳郎	台灣本島人の姓氏の分布と 居住型	台灣地学記事、6卷、4, 5 号	1935.
富田 芳郎	北部台灣に於ける村落居住 型形成の要因に就いて (1~3)	地理学、4卷、4号, 5号, 6号	1936.
渡辺 久雄	台灣中壢台地方 —經濟地理学的1考察—	「石橋博士記念論文集」(京 古今書院 1936. 大地理論叢、第8輯)	
田中 薫	台灣に於けるタイヤル族の 土地利用の形態に就いて (1)(2)	地理学評論、13卷、2号, 5号	1937.
木下 龜城	台灣の過去現在及将来	地理学、5卷、4号	1937.
高山 貞吉 柏井他六郎	基隆市の煤煙防止に就いて	都市問題、24卷、6号	1937. 6
富田 芳郎	台灣に於ける街村 —台北州新莊街—(1)(2)	地理教育、26卷、6号, 27卷、1号	1937. 9 1937.10
富田 芳郎	台北州新莊街新莊の聚落地 理的特徴	台灣地学記事、8卷、5, 6 号	1937.
阿部 武道	台灣蕃人の原始經濟生活の 1研究	地理学、5卷、8号	1937.
内田 勤	台灣に於ける輪中類似の地 域に就いて	「地理論叢」(京大)、第9 輯	古今書院 1937.
庄内 久孝	台灣人口の地理学的研究	「地理論叢」(京大)、第9 輯	古今書院 1937.

著者名	論文名	雑誌卷,号(書籍名)	(発行所)刊行年(月)
鹿野 忠雄	台湾原住民族の人口密度、分布並に高度分布(演旨)	地理学評論、14卷、1号	1938.
鹿野 忠雄	台湾原住民族の人口密度、分布並に高度分布に関する調査(1)(2)	地理学評論、14卷、8号、9号	1938.
鹿野 忠雄	台湾原住民族に於ける漢族の影響度の地理的分布(演旨)	地理学評論、16卷、1号	1940.
鹿野 忠雄	台湾原住民族の人類地理学的研究序説	地理学研究、1卷、3号	1942.
川田 三郎	台湾に於ける土地利用	地理学評論、19卷、6号	1943.
富田 芳郎	台湾の社会地理的特質の基礎	社会地理、17号	1949.

付録2 中国本土に関し、欧文で発表された
おもな地理学的著書、論文目録
(1935-1950)

著書、報告書 88

論文(A)、中国本土全般 95

論文(B)、地域的諸問題 101

〔注〕 中国本土の研究に関しては、Cressey, G. B. : Land of the 500 Million. A Geography of China. New York, 1955. の巻末に、かなり豊富な文献があげられている。しかしこれはアメリカの立場からのものであるだけに、通俗的なものや、外国では入手困難な刊行物が多く含まれている反面、純学術的なものがかなり落ちている。これらの欠点を補正して作つたものがこの目録である。ここに掲げられているものの中には、私自身もまだ現物に接していないものがかなり多く含まれているが、それでも、たとえば当時の中国国内で刊行された学術雑誌には、日本ではよく揃っていないものもあつたりして、この目録もまだ不完全なものである。

著書、報告書

I 中国本土全般

(1) 自然環境關係

- YOUNG, T. I.: Bibliography of Chinese Geology up to 1934.
National Academy, Peiping, 1935.
- CHU, Co-Ching, TU, Chang-Wang, CHANG, Pao-Kun: The Chinese Rainfall. Nat. Research Inst., Meteorology, Nanking, 1935.
- LEAGUE OF NATIONS: Report by the Committee of Experts on Hydraulic and Road Questions in China. Geneva, 1936.
- THORP, J.: Geography of the Soils of China. Nanking, 1936.
Peking, 1939.
- TREBGE, E.: Die Grenzen des Monsuns in Asien. Diss. Jena, 1937.
- LEE, J. S.: The Geology of China. London, 1939.
- GILES, L.: Glossary of Chinese Topographical Terms. Geogr. Sec., General Staff, War Office, London, 1943.
- LOA, David Kai-Foo.: Climatic Atlas of China Proper. Text and Atlas. Clark Univ. Worcester, 1944.
- CHARDIN, Teilhard de and PHEI Wen-Chung: Le Neolithique de la Chine. French Bookstore, Peiping, 1944.
- CENTRAL WEATHER BUREAU: The Climatological Atlas of China. Chung-King, 1946.
- CENTRAL WEATHER BUREAU: General Treatise on the Climate of China. Chung-King, 1947.
- CHENG, Cheng-Shu: Chinese-Synoptic Weather Patterns. Shanghai Observatory, 1949.

(2) 住民・經濟・土地利用

- CHI, Chao-Ting; Key Economic Areas in Chinese History, as revealed in the Development of Public Works for Water-Control. London, 1936.
- BUCK, J. L.: Land Utilization in China. A study of 16,786 farms in 168 localities, and 38,256 farm families in twenty-two provinces in China, 1929-1933. 3vols., Nanking, 1937.
- JOÜN, René: Géographie commerciale de la Chine. Shanghai, 1937.

- LEE, Chen Tung: The Coal Industry of China. Univ. L'Aurore, Shanghai, 1938.
- KING, F. H.: Farmers of Forty Centuries; or Permanent Agriculture in China, Korea and Japan. London, 1939.
- INSTITUTE OF PACIFIC RELATIONS: Agrarian China. Univ., Chicago Press, 1940.
- LIEU, D. K.: The Silk Industry of China. Hong Kong, 1941.
- FOUNG, H. D.: The Post War Industrialization of China. National Planning Association, New York, 1942.
- CHANG, Kia-Ngau: China's Struggle for Railway Development. New York, 1943.
- YOUNG, Martin C.: A Chinese Village. Columbia Univ. Press, New York, 1945.
- COX, E. H. M.: Plant Hunting in China. London, 1945.
- PHILLIPS, R., JOHNSON, R. G., MOYER, R. T.: The Livestock of China. U.S. Dept. of State Publ., Far Eastern Series 9, Washington D. C. 1945.
- CHANG, Chi-Yun: The Natural Resources of China. Sino-International Economic Research Center, New York, 1945.
- NUTTONSON, M. Y.: Ecological Crop Geography of China and its Agro-Climatic Analogues in North America. Amer. Inst. of Crop Ecology, No.7, Washington D. C., 1947.
- WANG, Kung-Ping: Controlling Factors in the Future Development of the Chinese Coal Industry. New York, 1947.
- PURCELL, V.: The Chinese in Malaya. Inst. of Pacific Relations, Oxford Univ. Press, London, New York, 1948.
- WINFIELD, G. E.: China, the Land and the People. New York, 1948.
- CABLE, M. and FRENCH, F. : China: Her Life and her People. Univ. of London Press, 1949.
- GOUROU, Pierre: The Development of Upland Areas in China. Inst. of Pacific Relations, New York. 1949.
- LATTIMORE, O.: The Situation in China. Boston, 1949.
- CHANG Pei-Kang: Agriculture and Industrialization. Harvard Univ. Press, Cambridge, 1949.

(3) 歴史地理・探検紀行、その他

- BERNARD-MAITRE, H.: Matteo Ricci's Scientific Contribution to China, Trans. by Werner, E. T. C. Peiping, 1935.
- HERRMANN, A.: Historical and Commercial Atlas of China. Harvard-Yenching Institute Monographic Series Vol. I., Harvard Univ. Press, 1935.
- OXENHAM, E. L.: Historical Atlas of the Chinese Empire. College of Chinese Studies, Peking, 1937.

- HUGHES, E. R.: The Invasion of China by the Western World.
London, 1937.
- MOULE, A. C. and PELLION, P.: Marco Polo; The Description of
the World. London, 1938.
- CASTELL, W. D.: Chinaflug. Berlin, Zürich, 1938.
- TEGGART, F. J.: Rome and China; A Study of Correlations in
Historical Events. Univ. California Press, 1939.
- CRESSEY-MARCKS, V.: Journey in China. London, 1940.
- FISCHER, E. S.: Travels in China, 1894-1940. Tientsin, 1941.
- FUCHS, W.: Der Jesuiten Atlas der Kanghsia Zeit; China und die
Aussenländer. Catholic Univ. Peking, 1941.
- FUCHS, W.: Der Jesuiten-Atlas der Kanghsia-Zeit; Seine
Entstehungsgeschichte nebst Namensindizes für die Karten der
Mandjurei, Mongolei, Ostturkestan und Tibet, mit Wiedergabe
der Jesuiten-Karten in Originalgrösse. Catholic Univ.
Peking, 1943.
- WILLIS, B.: Friendly China: Two thousand miles afoot among
the Chinese. Stanford Univ. Press, 1949.

II 地域的諸問題

(1) 華北·華中·華南

- CHU, T.H.: Tea Trade in Central China. Shanghai, 1936.
- TODD, O. J.: Two Decades in China. Association of Chinese
and American Engineers, Peking, 1938.
- LOWDERMILK, W. C.: History of Soil Use in the Wu Tai Shan
Area. North China Br. of the Royal Asia. Soc. Monograph,
1938.
- FEI, Hsiao-Tung: Peasant Life in China, a Field Study of
Country Life in the Yangtze Valley. Oxford Univ. Press,
New York, 1939.
- PECK, G.: Through China's Wall. Boston, 1940.
- CHEN, Ta: Emigrant Communities in South China. Inst. Pacific
Relations, New York, 1940.
- JONES, F. C.: Shanghai and Tientsin, with Special Reference to
Foreign Interests. Inst. Pacific Relations, New York,
1940.
- HAUSER, E. O.: Shanghai; City for Sale. New York, 1940.
- RICHARDSON, H. L.: Soil and Agriculture of Szechwan.
National Agriculture Research Bureau, Chungking, 1942.
- BUCK, J. L.: An Agricultural Survey of Szechuan Province,
China. Inst. of Pacific Relations, New York, 1943.

- YANG, M. C.: A Chinese Village: Taitou, Shantung Province.
Columbia Univ. Press, New York, 1945.
- HU, Ch. Y.: Agricultural and Forestry Land Use of Szechwan.
Univ. of Chicago Press, 1946.
- WORCESTER, G. R. G.: The Junks and Sampans of the Yangtze.
Vol. I. Introduction; Craft of the Estuary and Shanghai Area.
Vol. II. The Craft of the Lower Yangtze and Tributaries.
Shanghai Inspectorate General of Customs, London, 1947, 1948.
- DAVIS, S. G.: Hong Kong, in its Geographical Setting. London,
1949.
- OKADA Kunio: Economic Organization of the Li Tribes of Hainan
Island. Southeast Asia Studies, New Haven, 1950.

(2) 满州·蒙古·新疆方面

- HEDIN, Sven: Big Horse's Flight: The Trial of War in Central
Asia. London, 1936.
- YOUNGHUSBAND, F. : The Heart of a Continent. London, 1937.
- TEICHMAN, E.: Journey to Turkestan. London, 1937.
- PLAETSCHKE, B.: Das Bergland der Nord Westlichen Mandschurei.
Peterm. Geogr. Mitt. Ergänzungsheft 232, 1937.
- HEDIN, Sven: Silk Road. New York, 1938.
- HEDIN, Sven: The Wandering Lake. London, 1940.
- LATTIMORE, Owen: Inner Frontiers of China. Amer. Geogr. Soc.
Research Series 21, 1940.
- WU, A. K.: Turkistan Tumult. London, 1940.
- SCHUMPETER, E. B.: The Industrialization of Japan and Manchukuo
1930-1940. Bureau of Intern. Research, Harvard Univ. and
Radcliffe College, New York, 1940.
- CABLE, M. and FRENCH, F.: The Gobi Desert. London, 1942.
- HU, Huan-Yong and TUNG, Chen-Kang: Books and Articles on
Sinkiang (in Western Languages). Dept. of Geography,
National Central Univ., Nanking, 1943.
- OLSCHKI, L.: Marco Polo's Precursors. Baltimore, 1943.
- GILES, L.: Six Centuries at Tunhuang. China Society, London,
1944.
- KAZAKYEVICH, V. A.: Modern Mongolian Toponymy, translated by
Lessing, F. D. Berkley, California, 1944.
- FUCHS, W.: The "Mongol Atlas" of China by Chu-Ssu-Pen and
Kuang-Yü-T'u. Journ. of Oriental Studies of the Catholic
Univ. Monograph VIII, Peiping, 1946.
- HSIAO, Fang: Bibliography of Chinese Geology; Bibliography of
Geology and Geography of Sinkiang. The Nat. Geolog. Survey
of China, Nanking, 1947.

- FRITERS, G. M.: Outer Mongolia and its International Position.
Inst. of Pacific Relations, Baltimore, 1949.
- JONES, F. C.: Manchuria since 1931. Oxford, New York, 1949.
- LATTIMORE, O.: Pivot of Asia: Sinkiang and the Inner Asian
Frontiers of China and Russia. Boston, 1950.

Publications of the Sino-Swedish Expedition to the
North-Western Provinces of China (1927-35), under the
Leadership of Sven Hedin. 34 vols., Stockholm, (1937-
1950).

- Publ. 1. BOHLIN, B.: Eine tertiäre Säugetier-Fauna aus
Tsaidam. 111pp.
- Publ. 2. NORIN, E.: Geology of Western Quruq-tagh, Eastern
Tien-shan. 194pp.
- Publ. 3. BOHLIN, B.: Notes on some Palaeozoic Localities in
the Nan-shan SE of Tunhuang. 53pp.
- Publ. 4. TROEDSSON, G. T.: On the Cambro-Ordovician Faunas of
Western Quruq-tagh, Eastern T'ien-shan. With an appendix
by O. M. B. BULMAN. 80pp.
- Publ. 5. BOHLIN, B.: Oberoligozäne Säugetiere aus dem Shargal-
tein-Tal, Western Kansu. 66pp.
- Publ. 6. AMBOLT, N.: Latitude and Longitude Determinations in
Eastern Turkistan and Northern Tibet derived from
Astronomical Observations. 142pp.
- Publ. 7. BERGMAN, F.: Archaeological Researches in Sinkiang.
258pp.
- Publ. 8. HAUDE, W.: Ergebnisse der allgemeinen meteorologis-
chen Beobachtungen und der Drachenaufstiege an den
beiden Standlagern bei Ikengüng und am Edsen-gol
1931-32. 328pp.
- Publ. 9. FÜRST, C.M.: The Skeletal Material collected during
the Excavations of Dr. T.J. Arne in Shah Tepé at
Astrabad-Gorgan in Iran. AMSCHLER, J. W.: Tierreste
der Ausgrabungen von dem "Grossen Königshügel" Shah
Tepé, in Nord-Iran. 129pp.
- Publ. 10. BOHLIN, B.: Notes on the Hydrography of Western
Kansu. 54pp.
- Publ. 11. FREBOLD, H.: Untersuchungen über die Fauna und
Stratigraphie des marinen Tertiärs von Ostturkistan.
35pp.
- Publ. 12. DUCRIEZ, T.: Igneous Rocks of Nanshan. A study in
Caledonian igneous rocks. Introduction by BESELL, G.
- Publ. 13. MAGNUSSON, A. H.: Lichens from Central Asia. Part I.
168pp.
- Publ. 14. ALBRECHT, F.: Ergebnisse von Dr. HAUDES Beobachtun-
gen der Strahlung und des Wärmehaushaltes der Erdober-

- fläche an den beiden Standlagern bei Ikengüng und am Edsen-gol 1931-32. Unter Mitwirkung von P. BROSSE. 352pp.
- Publ. 15 SYLWAN, V.: Woolen Textiles of the Lou-lan People. Introduction by F. BERGMAN. With an appendix by G. MONTELL.
- Publ. 16. NORIN, E.: Geologic Reconnaissances in the Chinese T'ien-shan. With appendices by F. HERITSCH, F. KAHLER, and B. BOHLIN. 229pp.
- Publ. 17. REGNELL, G.: On the Siluro-Devonian Fauna of Chöltagh, Eastern T'ien-shan. Partl. 64pp.
- Publ. 18. LESSING, F.D.: Yung-Ho-Kung. An Iconography of the Lamaist Cathedral in Peking with notes on Lamaist mythology and cult. In collaboration with G. MONTELL. Vol. I. 179pp.
- Publ. 19. HJORTSJÖ, C. H. and WALANDER, A.: Das Schädel-und Skelettgut der archäologischen Untersuchungen in Ost-Turkistan. 89pp.
- Publ. 20. BOHLIN, B.: The Fossil Mammals from the Tertiary Deposit of Taben-buluk, Western Kansu. Part I. 113pp.
- Publ. 21. The Music of the Mongols. Part I. Eastern Mongolia. 100pp.
- Publ. 22. MAGNUSSON, A. H.: Lichens from Central Asia. Part II, 72pp.
- Publ. 23 HEDIN, S.: History of the Expedition in Asia 1927-1935. In collaboration with F. BERGMAN. 258pp.
- Publ. 24. HEDIN, S.: History of the Expedition in Asia 1927-1935. Part II. 215pp.
- Publ. 25. HEDIN, S.: History of the Expedition in Asia 1927-1935. Part III. 346pp.
- Publ. 26. History of the Expedition in Asia 1927-1935. Part IV. General reports of travels and field-work.
BERGMAN, F.: Travels and Archaeological Field-work in Mongolia and Sinkiang. A diary of the years 1927-1935.
BEXELL, G.: Geological and Palaeontological Investigations in Mongolia and Kansu 1929-1934. BOHLIN, B.: Palaeontological and Geological Researches in Mongolia and Kansu 1929-1933. MONTELL, G.: As Ethnographer in China and Mongolia 1929-1932. 449pp.
- Publ. 27. ARNE, T. J.: Excavations at Shah Tepé, Iran. 366pp.
- Publ. 28. BOHLIN, B.: The Fossil Mammals from the Tertiary Deposit of Taben-buluk, Western Kansu. Part II. 259pp.
- Publ. 29. NORIN, E.: Geological Explorations in Western Tibet. With appendices by F. HERITSCH, K. METZ and H. FREBOLD. 214pp.

- Publ. 30. AMBOLT, N.: Relative Schwerkraftsbestimmungen mit Pendeln in Zentralasien. 112pp.
- Publ. 31. NORLINDH, T.: Flora of the Mongolian Steppe and Desert Areas. Part I. 139pp.
- Publ. 32. SYLWAN, V.: Investigation of Silk from Edsen-gol and Lop-nor. Introduction by G. MONTELL. 180pp.
- Publ. 33. BOHLIN, B.: A Contribution to our Knowledge of the Distribution of Vegetation in Inner Mongolia, Kansu and Ching-hai. 95pp.
- Publ. 34. MARINGER, J.: Contribution to the Prehistory of Mongolia. 228pp.

(3) 雲南、チベット方面

- SIGURET, J.: Territoires et population des confins du Yunnan. Peking, Vol. I, 1937. Vol. II, 1940.
- SCHÄFER, E.: Unbekanntes Tibet. Durch die Wildnisse Osttibets zum Dach der Erde. Berlin, 1937.
- HERRMANN, A.: Das Land der Seide und Tibet im Lichte der Antike. Quellen u. Forschungen zur Geschichte der Geographie und Völkerkunde, Vol. 1. Leipzig, 1938.
- SCHÄFER, E.: Dach der Erde. Durch das Wunderland Hochtibet. Berlin, 1938.
- CHAPMAN, F. S.: Lhasa, the Holy City. London, 1938.
- FITZGERALD, C.P.: The Tower of Five Glories, a Study of the Min Chia of Ta Li, Yunnan. London, 1941.
- SMITH, N.: Burma Road. New York, 1942.
- SCHÄFER, E.: Geheimnis Tibet. Erster Bericht der Deutschen Tibet Expedition 1938-1939. München, 1943.
- CHENG, Te-Khun and LIANG, Chao-Thao: An Introduction to the South-Western Peoples of China. Chengtu, Sze., 1945.
- TAN, Pei-Ying: The Building of the Burma Road. New York and London, 1945.
- TSENG, T. C.: Bibliography of Geology and Allied Sciences of Tibet. National Geological Survey, Nanking, 1946.
- ROCK, J. F.: The Ancient Na-Khi Kingdom of Southwest China. Harvard Univ. Press, 1947.
- FEI, Hsiao-Tung: Earthbound China. A Study of Rural Economy in Yunnan. London, 1948.
- CHEN, Han-Seng: Frontier Land System in Southernmost China: A comparative Study of Agrarian Problems and Social Organization among Pai Yi People of Yunnan and the Kamba People of Sinkiang. Inst. of Pacific Relations, New York, 1949.

論文 (A)

I 中国本土全般

(1) 自然環境關係

- THORP, J.: Geographic Distribution of the Important Soils of China. Bull. Geolog. Soc. China, Vol. 14, 1935, 119-160.
- THORP, J.: Soil Profile Studies as an Aid to Understanding Recent Geology. Bull. Geolog. Soc. China, Vol. 14, 359-381, 1935.
- BARBOUR, G. B.: Correlation by Fluviaatile Terraces. Bull. Geolog. Soc. China, Vol. 14, 1935, 469-481.
- TU, Chang-Wang: Some Regional Rainfall Types of China. Nat. Research Inst. of Meteorology, Nanking, Memoir 5, 1935.
- JAW, Jeou-Jang: A Preliminary Analysis of Air Masses over Eastern China. Nat. Research Inst. of Meteorology, Nanking, Memoir 5, 1935.
- TU, Chang-Wang: Climatic Provinces of China. Nat. Research Inst. of Meteorology, Nanking, Memoir 1, 1936.
- CHU, Co-Ching: A Brief Survey on the Climate of China. Nat. Research Inst. of Meteorology, Nanking, Memoir 7, 1936.
- HANSON-LOWE, J.: Theoretical Reflections on the Geomorphology of China from the Viewpoint of Glacio-Eustatism. Bull. Geolog. Soc. China, Vol. 15, No. 1, 1936.
- LI, Sjan-Zsi: Untersuchungen über Taifune. Veröff. des Meteorol. Inst. der Univ. Berlin, Bd I, Heft 5, 1936.
- CHARDIN, Teilhard de: Notes on Continental Geology. Bull. Geolog. Soc. China, Vol. 16, 195-220, 1936-37.
- TU, Chang-Wang: China Weather and World Oscillation with Applications to Long-Range Forcasting of Floods and Droughts of China during the Summer. Nat. Research Inst. of Meteorology, Nanking, Memoir 4, 1937.
- LU, A.: The Cold Waves of China. Nat. Research Inst. of Meteorology, Nanking, Memoir 10, 1937.
- WISSMANN, H. von: Niederschlagkarte von China mit Begleitworten. Zeit. Gesell. Erd. Berlin, 38-43, 1937.
- WISSMANIN, H. von: Die quartäre Vergletscherung in China. Zeit. Gesell. Erd. Berlin, 241-262, 1937.
- WISSMANN, H. von: The Pleistocene Glaciation in China. Bull. Geol. Soc. China, Vol. 17, 145-168, 1937.
- WISSMANN, H. von: Über Lössbildung und Würmeiszeit in China. Geogr. Ztschr. 44, 201-220, 1938.

- WISSMANN, H. von: Die Klimate Chinas im Quartär. Geogr. Ztschr. 44, 321-340, 1938.
- JEFFRIES, C. W. and HEYWOOD, G. S.: The Law of Storms in the China Sea. Hong Kong Meteor. Results 1937, App. III, Royal Observatory, Hong Kong, 1938.
- TU, Chang-Wang: The Air Masses of China. Nat. Research Inst. Meteor. Memoir Vol. 12, No. 2, 1938.
- WISSMANN, H. von: Die Klima-und Vegetationsgebiete Eurasiens. Ztschr. Gesell. Erd. Berlin, 1-114, 1939.
- TU, Chang-Wang: Chinese Air Mass Properties. Quart. Jour. Roy. Meteor. Soc. Vol. 65, 33-51, 1939.
- ANDERSSON, J. G.: Topographical and Archaeological Studies in the Far East. Ostasiatiska Samlingarns, Stockholm, Bull. 11, 1939.
- TIEH, T. M.: Soil Erosion in China. Geogr. Rev. 31, 570-590, 1941.
- TERRA, H. de : Pleistocene Formation and Stone Age Man in China. Inst. de Geobiologie, Publications No. 6, Peking, 1941.
- WANG, T. C.: Die Dauer der ariden, humiden und nivalen Zeiten des Jahres in China. Tübinger Geogr. u. Geolog. Abh. Reihe 2, H. 7, 1941.
- SCHWIND, DM.: Die eiszeitliche Vergletscherung Ostasiens. Geogr. Ztschr. 48, 157-172, 1942.
- LOWDERMILK, W. C. and WICKES, D. R.: China and American Soil Erosion. Sci. Monthly, 61, 393- , 1943.
- LU, A.: Chinese Climatology. Meteorological Papers of C. W. B. of China, Vol. I, No. 2, 1944.
- TU, Chang-Wang and Hwang, Sze-Sung: The Advance and Retreat of the Summer Monsoon in China. Bull. Amer. Meteor. Soc. 26, 9-22, 1945.
- HUANG, T. K.: On the Major Tectonic Forms of China. Geolog. Survey, China, Memoir Series A, 20, 1945.
- CHANG, Chi-Yun: Climates and Man in China. Ann. Assoc. Amer. Geogr. 36, 44-73, 1946.
- LIU, En-Lan; Climates and China's Agricultural Industry. Jour. Geogr. 45, 90-96, 1946.
- LU, A.: Precipitation in the South Chinese-Tibetan Borderland. Geogr. Rev. 37, 88-93, 1947.
- BORCHERT, J. R.: A New Map of the Climates of China. Ann. Assoc. Amer. Geogr. 37, 169-176, 1947.
- JONG, Pin-Chen: Chinese Air Masses. Memoirs, Inst. of Meteor. Academia Sinica, Vol. 15, No. 3, 1948.
- TAO, Shih-Yen: The Mean Surface Air Circulation over China. Memoirs, Inst. of Meteor. Vol. 15, No. 4, 1948.
- KAO, Yu-Hsie: General Circulation of the Lower Atmosphere over the Far East. Memoirs, Inst. of Meteor. Vol. 16, No. 1, 1948

HAUDE, W., FOCHLER-HAUKE, G. and LAUTENSACH, H.: Diskussion über den Sommermonsun in Ostasien. *Erdkunde* 3, Heft 4, 1949.

LIU, En-Lan: (1) Rainfall Variability or Reliability.
(2) Rainfall Variations and Agricultural Risk Analysis.
(3) Chinese Droughts. *Comptes Rendus, the 16th Intern. Geogr. Congress (Lisbon)*, Vol. 2, 1949.

(2) 住民、經濟、地域区分

LEE, J. S.: Coal Resources of China. *Asiatic Review* 31, 571-585, 1935

BELDON, W., and SALTER, M.: The Iron Ore Resources of China. *Econ. Geogr.*, 11, 426-430, 1935.

SPENCER, J. E.: Salt in China. *Geogr. Rev.*, 25, 353-366, 1935.

FETTER, Fr. Wh.: China and the Flow of Silver. *Geogr. Rev.*, 26, 32-47, 1936.

ROXBY, P. M.: The Major Regions of China. *Geography*, 23, 9-14, 1938.

TREWARTHA, G. T.: Ratio Maps of China's Farms and Crops. *Geogr. Rev.*, 28, 102-111, 1938.

SHAW, E. B.: The Swine Industry of China. *Econ. Geogr.*, 14, 381-397, 1938.

CRESSEY, G. B.: Foundations of Chinese Life. *Econ. Geogr.*, 15, 95-104, 1939.

LOWDERMILK, W. C. and WICKES, D. R.: Ancient Irrigation in China brought Up to Date. *Sci. Monthly*, 60, 209-225, 1942.

WALKER, E. H.: The Plants of China and their Usefulness to Man. Annual Report, Smithsonian Inst., 325-362, 1943.

READ, Th. T.: Economic-Geographic Aspects of China's Iron Industry. *Geogr. Rev.*, 33, 42-55, 1943.

WANG, Kung-Ping: Mineral Resources of China with Special Reference to the Nonferrous Metals. *Geogr. Rev.*, 34, 621-635, 1944.

LI, Hui-Lin: The Phytogeographic Divisions of China, with Special Reference to the Araliaceae. *Proc. Acad. Natural Sci. of Philadelphia*, 249-277, 1944.

BEHRE, Ch. H., and WANG, Kung-Ping: China's Mineral Wealth. *Foreign Affairs*, 23, 130-139, 1944.

GAMBLE, S. D.: Four Hundred Chinese Farms. *Far Eastern Quarterly*, 4, 341-366, 1945.

PHILLIPS, R. W.: Livestock in the Lives of the Chinese. *Sci. Monthly*, 60, 269-285, 1945.

CHANG, Kia-Ngau: China's Need for Transport. *Foreign Affairs*, 23, 467-475, 1945.

- JUAN, V. C.: Mineral Resources of China. Econ., Geology, 41, 399-474, 1946.
- SMYTH, H.: China's Petroleum Industry. Far Eastern Survey, 15, 187-190, 1946.
- YEH, George K. C.: The Industrialization of China. Jour. Roy. Central Asian Soc. 33, 9-24, 1946.
- WANG, Kung-Ping and READ, Th. T.: Controlling Factor in China's Coal Development. Pacific Affairs, 19, 165-181, 1946.
- LEE, Shu-Tan: Delimitation of the Geographic Regions of China. Ann. Assoc. Amer. Geogr., 37, 155-168, 1947.
- SPENCER, J. E.: The Houses of the Chinese. Geogr. Rev. 37, 254-273, 1947.
- SPENCER, J. E.: On Regionalism in China. Jour. Geogr. 44, 123-136, 1947.
- HU, Huan-Yong: A New Cotton Belt in China. Econ. Geogr., 23, 60-66, 1947.
- ALEXANDER, J. W.: The Prewar Population of China: Distribution and Density. Ann. Assoc. Amer. Geogr., 38, 1-5, 1948.
- TREWARTHA, G. T., and YANG, Shou-Jen: Notes on Rice Growing in China. Ann. Assoc. Amer. Geogr., 38, 277-281, 1948.
- GOUROU, P.: Notes on China's Unused Uplands. Pacific Affairs, 21, 227-238, 1948.
- TENG, S. C.: A Provincial Sketch of the Forest Geography of China. Botanical Bull. Academia Sinica, II, 133-146, 1948
- CHANG, Chih-Yi: China's Population Problem-A Chinese View. Pacific Affairs, 22, 339-356, 1949.
- MARKER, A. E.: A Survey of Economic Problems in China. Internat. Affairs, 25, 23-36, 1949.
- BUCK, J. L.: Facts and Theory about China's Land. Foreign Affairs, 28, 92-101, 1949.
- BARCLAY, G. W.: China's Population Problem - A Closer View. Pacific Affairs, 23, 184-192, 1950.

(3) 歴史地理、紀行、文化その他

- DRAKE, F. S.: China's North-West Passage. A Chapter in its Opening. Jour, North China Br. Roy. Asia. Soc., 66, 42-49, 1935.
- WEIDENREICH, G.: Sinanthropus Population of Chou-Khou-Tien with a Preliminary Report on New Discoveries. Bull. Geol. Surv. China, 14, 427-464, 1935.
- MOFFAT, A. L.: The Salar Muhammadans. Geogr. Jour., 85, 525-530, 1935.
- HERRMANN, A.: Das geographische Bild Chinas im Altertum. Sinica, Forke-Festschrift Sonderausgabe, 72-, 1937.

- DUYVENDAK, J. J. L.: Sailing Directions of Chinese Voyages.
T'oung Pao, 34, 230- , 1938.
- HUMMEL, A. W.: The Beginning of Word Geography in China.
Annual Rep. of the Librarian of Congress, Div. of Orientalia,
224-225, 1938.
- HUMMEL, A. W.: Astronomy and Geography in the Seventeenth
Century in China. Annual Rep. Librarian of Congress, Div.
Orientalia, 226- , 1938.
- ROXBY, P. M.: The Terrains of Early Chinese Civilization.
Geography, 23, 225-236, 1938.
- CH'EN, Kuan-Shêng: Matteo Ricci's Contribution to, and
Influence on, Geographical Knowledge in China. Jour.
Amer. Oriental Soc., 59, 325-359, 1939.
- CH'EN, Kuan-Shêng: A Possible Source for Ricci's Notice on
Regions near East. T'oung Pao, 34, 179- , 1939.
- WEIDENREICH, G.: Some Problems dealing with Ancient Man.
Amer. Anthropologist, 42, 375- , 1940.
- WITTFOGEL, K. A.: Meteorological Records from the Divination
Inscriptions of Shang. Geogr. Rev., 30, 110-133, 1940.
- SPENCER, J. E.: Chinese Place Names and the Appreciation of
Geographic Realities. Geogr. Rev., 31, 79-94, 1941.
- YAO, Shan-Yu: The Chronological and Seasonal Distribution of
Floods and Droughts in Chinese History, 206 B.C. - A. D.
1911. Harvard Jour. Asiatic Studies, 6, 273-312, 1942.
- YAO, Shan-Yu: The Geographical Distribution of Floods and
Droughts in Chinese History, 206 B. C. - A. D. 1911. Far
Eastern Quart., 2, 357-378, 1942-43.
- CHAO, Yuen-Ren: Languages and Dialects in China. Geogr. Jour.
102, 63-66, 1943.
- A R. H.: The Romanization of Chinese Place-Names. Geogr.
Jour., 102, 67-71, 1943.
- YAO, Shan-Yu: Floods and Drought Data in the Thu Shu Chi Chhêng
and the Chhing Shih Kao. Harvard Jour. Asia. Studies 8,
214- , 1944.
- CHANG, Chi-Yun: Geographic Research in China. Ann. Assoc.
Amer. Geogr., 34, 47-62, 1944.
- CRESSEY, G. B.: Geographical Education in China, (Geogr.
Review). Geogr. Rev., 35, 486-487, 1945.
- HOURAANI, G. F.: Direct Sailing between the Persian Gulf and
China in Pre-Islamic Times. Jour. Roy. Asia, Soc.,
157- , 1947.
- JEN, Mei-Ngo: The Progress of Geography during the last Thirty
Years. Profes. Geogr., 8, 1948.
- GINSBURG, N. S.: Comments on some Publications of China Insti-
tute of Geography. Ann. Assoc. Amer. Geogr., 38, 147-150,
1948.

- STABLES, F. H. A : Present Conditions of Road Travel in China.
Jour. Roy. Asia. Soc., 35, 144-150, 1948.
- HSU, Ginn-Tze: Some Chinese Geographical Works during the War.
Scott. Geogr. Mag., 65, 1949.
- SCHOLZ, H. D.: Geographica Sinica, 1939-1949. Erdkunde 3,
244-248, 1949.
- SCHOLZ, H. D.: Die geographische Wissenschaft in China.
Geographica Helvetica 5, 40-46, 1950.

論 文 (B)

II 地域的諸問題

(1) 滿州・華北

- BARBOUR, G. B.: Physiography of Jehol, North China. Bull. Geol. Soc. of America, 96, 1483-1492, 1935.
- Gösta, M.: The Lama Temple Potala of Jehol. Geogr. Annal., 17, Seven Hedin Hyllningsskrift, 175-184, 1935.
- FOCHLER-HAUKE, G.: Vorläufige Ergebnisse meiner Mandshurischen Erkundungsfahrten. Zeitschr. Gesell. Erd. Berlin, 161-190, 1936.
- FOCHLER-HAUKE, G.: Vorläufige Ergebnisse meiner Dscheholreise. Zeitschr. Gesell. Erd. Berlin, 257-269, 1936.
- FOCHLER-HAUKE, G.: Die Mandschurei, mit Dschehol, 1927-1936. Geogr. Jahrbuch, 53, 275-326, 1938.
- OGURA, T.: Igneous Activity and Ore-Deposits in Manchuria. Jap. Jour. Geol. and Geogr., 19, 11-14, 1944.
- OGURA, T.: Volcanoes in Manchuria. Jap. Jour. Geol. and Geogr. 19, 15-18, 1944.
- IMANISHI, K.: Ecological Observations on the Great Khingan Expedition. Geogr. Rev., 15, 236-253, 1950.
- BARBOUR, G. B.: Recent Observation on the Loess of North China. Geogr. Jour., 86, 54-65, 1935.
- LICENT, E. and TRASSAERT, M.: The Pliocene Lacustrine Series in Central Shansi. Bull. Geol. Soc. China, 14, 211-219, 1935.
- YOUNG, C. C. and BIEN, M. N.: Cenozoic Geology of the Wenho-Ssushui District of Central Shantung. Bull. Geol. Soc. China, 14, 221-241, 1935.
- YOUNG, C. C. and BIEN, M. N.: Some New Observations on the Cenozoic Geology near Peiping. Bull. Geol. Soc. China, 15, 207-216, 1936.
- GRABAU, A. M.: The Great Huangho Plain of China. Jour. Assoc. of Chinese and American Engineers, 17, 247-266, 1936.
- YOUNG, C. C. and BIEN, M. N.: Cenozoic Geology of the Kaolan-Yungteng Area of Central Kansu. Bull. Geol. Soc. China, 16, 221-245, 1936-37.
- FENZEL, G.: Das Taipei-Massiv im Tsinglingschan, Nordchina. Peterm. Geogr. Mitt., 83, 203-206, 1937.
- WISSMANN, H. von: Über Lössbildung und Würmeiszeit in China.

- Geogr. Zeitschr., 44, 201-220, 1938.
- OTUKA, Y.: A New Locality of the Sanmenian Formation in Central Shansi, North China. Jap. Jour. Geol. and Geogr., 17, 83-86, 1940.
- TODD, O. J. and ELIASSEN, S.: The Yellow River Problem. Transactions American Soc. Civil Engineers, 105, 346-453, 1940.
- TENG, S. C.: The Forest Regions of Kansu and their Ecological Aspects. Botanical Bull. Academia Sinica, June, 1947.
- TODD, O. J.: The Yellow River Reharnessed. Geogr. Rev., 38, 38-56, 1949.
- DEASY, G. F.: The Future of Manchurian Agriculture. Jour. of Geogr., 37, 20-27, 1938.
- DEASY, G. F.: The Soya Bean of Manchuria. Econ. Geogr., 15, 303-310, 1939.
- McCUNE, Sh.: Harbin, Manchoukuo. Jour. Geogr., 39, 187-196, 1940.
- DEASY, G. F.: Recent Trends in Manchoukuoan Trade. Econ. Geogr., 16, 162-170, 1940.
- YAZAWA, T.: On the Japanese Colonized Village in North Manchoukuo. Jap. Jour. Geol. and Geogr., 18, Abstract 33-34, 1941.
- MOYER, R. T.: The Agricultural Potential of Manchuria. Foreign Agriculture, 8, 171-191, 1944.
- GRAJDANZEV, A. J.: Manchuria: An Industrial Survey. Pacific Affairs, 18, 321-339, 1945.
- GRAJDANZEV, A. J.: Manchuria, Region of Colonization. Pacific Affairs, 19, 5-19, 1946.
- GINSBURG, N. S.: Ch'ang-Ch'un. Econ. Geogr., 23, 290-307, 1947.
- RODGERS, A.: The Manchurian Iron and Steel Industry and its Resource Base. Geogr. Rev., 38, 41-55, 1948.
- GINSBURG, N. S.: Manchurian Railway Development. Far Eastern Quart., 8, 398-411, 1949.
- HITCH, M. A.: The Port of Tientsin and its Problems. Geogr. Rev., 25, 367-381, 1935.
- TING, V. K.: Notes on the Records of Droughts and Floods in Shensi and the Supposed Dessication of N. W. China. Geogr. Annal. 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 453-462, 1935.
- MOYER, R. T.: Agricultural Soils in a Loess Region of North China. Geogr. Rev., 26, 414-425, 1936.
- LATTIMORE, O.: Origin of the Great Wall of China: A Frontier Concept in Theory and Practice. Geogr. Rev., 27, 529-549, 1937.

- ROXBY, P. M.: The Terrain of Early Chinese Civilization.
Geography, 23, 225-236, 1938.
- CHATLEY, H.: The Yellow River as a Factor in the Development of China. Asiatic Rev., 35, 134-141, 1939.
- MOYER, R. T.: Agricultural Practices in Semi-Arid North China.
Sci. Monthly, 55, 301-316, 1942.
- LOWDERMILK, W. C.: China and America against Soil Erosion.
Sci. Monthly, 56, 393-413, 505-520, 1943.
- GINSBURG, N. S.: Ching-tao: Development and Land Utilization.
Econ. Geogr., 24, 181-200, 1948.

(2) 華中・華南

- BARBOUR, G. B.: Physiographic History of the Yangtze. Geol. Survey of China, Memoirs, Ser. A, No. 14, 1935.
- FOCHLER-HAUKE, G.: Das Waldkleid und die Pflanzenbezirke Süd-Chinas. Mitt. Geogr. Gesell. Wien, 78, 158-178, 1935.
- CHARDIN, T. de and YOUNG, C. C.: The Cenozoic Sequence in the Yangtze Valley. Bull. Geol. Soc. China, 14, 161-177, 1935.
- CHARDIN, T., YOUNG, C. C., PEI, W. C., CHANG, H. C.: On the Cenozoic Formations of Kwangsi and Kwangtung. Bull. Geol. Soc. China, 14, 179-205, 1935.
- STEWARD, A., and CHEO, Shu-Yuen: Geographical and Ecological Notes of Botanical Explorations in Kwangsi Province, China. Nanking Jour., 5, 173-195, 1935.
- LEE, Y. Y.: The Sinian Glaciation in the Lower Yangtze Valley. Bull. Geol. Soc. China, 15, 131-134, 1936.
- THORP, J., and DYE, D. S.: The Chengtu Clays—Deposits of Possible Loessial Origin in Western and Northwestern Szechuan Basin. Bull. Geol. Soc. China, 15, 225-242, 1936.
- LEE, J. S.: Confirmatory Evidence of Pleistocene Glaciation from the Huang-shan, Southern Anhui. Bull. Geol. Soc. China, 15, 279-284, 1936.
- HUANG, T. K. and Hsu, T. Y.: Gravel Terraces in the Tsientang Valley and their Bearing on the Problem of Coastal Uplift. Bull. Geol. Soc. China, 15, 519-524, 1936.
- LI, Lien-China: Physiographical Significance of the Occurrence of Red Earths in Nanning Basin, Kwangsi. Bull. Geol. Soc. China, 15, 529-552, 1936.
- BARBOUR, G. B.: Physiographic History of the Yangtze. Geogr. Jour., 87, 17-34, 1936.
- SALFELD, H.: Über die diluviale Vereisung von West-Szetschuan (China) und insbesondere der Changtu-Ebene. Zentralbl. f. Min., Geol. u. Paläontologie, Abt. B, 353-357, 1936.

- DE TERRA, H.: Die eiszeitliche Zyklus in Südasien und seine Bedeutung für die menschliche Vorgeschichte. Zeitschr. Gesell. Erd. Berlin, 1938.
- GRESSEY, G. B.: The Land Forms of Chekiang. Ann. Assoc. Amer. Geogr. 28, 259-276, 1938.
- HANSON-LOWE, J.: The Problem of the Lower Yangtze Terraces. Bull. Geol. Soc. China, 18, 75-114, 1938.
- HAYAMI, S.: Hydrological Studies on the Yangtze River, China.
(1) Variations in Stage of the Yangtze River at Hankow and some Climatic Changes in Central China inferred from them. Jour. Shanghai Sci. Inst. Sec. I, 1938.
(2) A Theory of Silt Transportation by Running Water. Jour. Shanghai Sci. Inst. Sec. I, 1938.
(3) The Effect of the Tunting and Poyang Lakes on the Yangtze River. Jour. Shanghai Sci. Inst. Sec. I, 1939.
(4) On the Mechanics of Flow in a Wide Alluvial River. Jour. Shanghai Sci. Inst. Sec. I, 1939.
- HANSON-LOWE, J.: The Structure of the Lower Yangtze Terraces. Geogr. Jour., 93, 54-67, 1939.
- YAO, Chen-Sheng: The Stationary Cold Fronts of Central China and the Wave-Disturbances developed over the Lake-Basin. Memoirs, Nat. Research Inst. Meteor., 13, No. 1, 1939.
- WISSMANN, H. von: Südwest Kiangsu, der Wuhu-Taihu-Kanal und das Problem des Yangtse-Deltas. Wiss. Veröff. Deutsch. Museum f. Landeskunde zu Leipzig, Nr. 8, 62-131. 1940.
- HSU, Ke-Chin: Tungsten Deposits of South Kiangsi. Memoir, Nat. Geol. Survey, Ser. A, No. 17, 1943.
- BROCK, R. W.: Weathering of Igneous Rocks near Hong Kong. Bull. Geol. Soc. America, 54, 717-738, 1943.
- WELLER, J. M.: Petroleum Possibilities of Red Basin of Szechuan Province, China. Bull. Amer. Assoc. Petroleum Geologists, 28, 1430-1439, 1944.
- HARLAND, W.B.: On the Physiographical History of Western Szechwan with Special Reference to the Ice Age in the Red Basin. Jour. West China Border Research Soc. Chengtu, Ser. B, 15, 1-19, 1945.
- WHITTINGTON, H. B.: The Physiographical History of Western Szechwan. Geol. Magazine, 83, 141-146, 1946.
- BRANDL, L.: Ergebnisse Hydrotechnischen Forschung im Gebiete des Yangtse Kiang. Abhandlung. Geogr. Gesell. Wien, 20, 1-64, 1947.
- CHATLEY, H.: The Hangshow Bore. Asiatic Rev. 45, 811-822, 1949.
- ORCHARD, J. E.: Shanghai. Geogr. Rev., 26, 1-31, 1936.

- CRESSEY, G. B.: The Fenghsien Landscape: A Fragment of the Yangtze Delta. Geogr. Rev., 26, 396-413, 1936.
- LIU, Enlan: Pootu, a Lost Island. Econ. Geogr., 13, 132-138, 1937.
- SPENCER, J. E.: Gypsum and Salt Mining in Central Hupeh, China. Econ. Geogr., 14, 282-286, 1938.
- SPENCER, J. E.: Trade and Transhipment in the Yangtze Valley. Geogr. Rev., 28, 112-123, 1938.
- SMITH, H. C.: Shanghai and its Hinterland. Jour. of Geogr., 38, 173-180, 1939.
- SPENCER, J. E.: Changing Chungkiang: The Rebuilding of an Old Chinese City. Geogr. Rev., 29, 46-60, 1939.
- TREWARtha, G. T.: Field Observations on the Canton Delta of South China. Econ. Geogr., 15, 1-10, 1939.
- SPENCER, J. E.: The Szechwan Village Fair. Econ. Geogr., 16, 48-58, 1940.
- BOOTH, A. W.: Hainan: Stepping Stone for Japanese Imperialism. Jour. of Geogr., 40, 231-234, 1941.
- SPENCER, J. E.: The Szechwan Village Tea House. Jour. of Geogr., 41, 52-58, 1942.
- YEN, Ching-Kwoh: The Tung Region of China. Econ. Geogr., 19, 418-427, 1943.
- CODRINGTON, K. de B.: Geographical Introduction to the History of Central China. Geogr. Jour., 104, 27-73, 1944.
- LEONARD, U.: The Chinese in the Southeast Asia. Geogr. Rev., 34, 196-217, 1944.
- LIN, Yu-Tang: Ancient Chengtu, City of Teahouse Culture. Asia, 45, 9-12, 1945.
- RICHARDSON, H. L.: Szechwan during the War. Geogr. Jour., 106, 1-25, 1945.
- BEATH, S. S.: Ching Te Chen, Porcelain City of Emperors. Jour. North China Br. Roy. Asia. Soc., 72, 7-12, 1946.
- HU, Huan-Yong: A New Cotton Belt in China. Econ. Geogr., 23, 60-66, 1947.
- HU, Huan-Yong: A Geographical Sketch of Kiangsu Province. Geogr. Rev., 27, 609-617, 1947.
- JEN, Mei-Ngo: Agricultural Landscape of Southwest China. Econ. Geogr., 24, 157-169, 1948.
- WIENS, H.: The Shu Tao or Road to Szechwan. Geogr. Rev., 39, 584-604, 1949.

(3) 蒙古·新疆方面

- WIEN, K.: Die Gletschergebiete im Pamir und Westturkestan. Zeitschr. f. Gletscherkunde, 23, 51-54, 1935.

- NORIN, E.: Tertiary of the Tarim Basin. Bull. Geol. Soc. China, 14, 337-347, 1935.
- HAUDE, von W.: Grenzen verschiedener Trockenklimate in Zentralasien. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 112-129, 1935.
- HÖRNER, N. G. and CHEN, P. C.: Alternating Lakes. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 145-166, 1935.
- KLEBELSBERG, R. von: Die Tumulus-Formen Turkestanischer Hochebenen. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 355-359, 1935.
- MACHATSCHEK, Fr.: Zur Morphologie von Zentralasien. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 379-391, 1935.
- FICKER, H. von: Gegenwärtige und eiszeitliche Vergletscherung in den westlichen Pamirgebieten. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 300-305, 1935.
- CHARDIN, Teilhard de: Geological Observation in the Turfan Area. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 446-452, 1935.
- HÖRNER, N. G.: Die heutige und ehemalige Vergletscherung in Richthofengebirge, Zentralasien. Verhandl. d. III, Interant. Quartär-Konferenz, Wien, Sept. 1936, 205-208, 1938.
- STEIN, Sir M. A.: Dессification in Asia, a Geographical Question in the Light of History. Hungarian Quaterly, Budapest. 1938.
- PRINZ, G.: Der Hohe Tienschan. Mitt. a. d. Jahrb. d. Kgl. Ungar. Geol. Anstalt 33, Budapest. 1939.
- PLAETSCHKE, B.: Landschaftskundliche Wesen zu der Östlichen Gobi. Wiss. Veroffent. des Deutsch. Museum f. Länderk, Leipzig, 7, 103-148, 1939.
- TADA, F.: Eine Wissenschaftliche Expedition nach dem Gobi-Becken im Jahre 1938. Jap. Jour. Goel. Geogr., 17, 19-20 (Abstracts), 1940.
- NORIN, E.: The Tarim Basin and its Border Regions. Region. Geol. d. Erde Bd. 2, Abschn, 4b: Dalaeozoische Tafeln und Gebirge. Leipzig, 1941.
- WENG, Wen-Po and LEE, T. S.: A Preliminary Study on the Quaternary Glaciation of the Nanshan. Bull. Geol. Soc. China, 26, 163-171, 1946
- SCHOVE, D. J.: Chinese Raininess through the Centuries. Meteor. Magazine, 78, 11-16, 1949.
- BERGMAN, F.: Newly Discovered Graves in the Lop-nor Desert. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 44-61, 1935.
- HERRMANN, A.: Die Gobi im Zeitalter der Hunnenherrschaft. Geog. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 130-143, 1935.
- THORP, J. M.: Colonization Possibilities of Northwest China and Inner Mongolia. Pacific Affairs, 7, 453-477, 1935.

- DRAKE, F. S.: The Struggle for the Tarim Basin in the Later Han Dynasty. Jour. North China Br. Roy. Asia. Soc., 67, 147-, 1936.
- FLEMING, P.: A Journey through Central Asia. Geogr. Jour., 88, 128-147, 1936.
- LATTIMORE, O.: The Historical Setting of Inner Mongolia. Pacific Affairs, 9, No. 3, 1936.
- MOYER, R. T.: Some Observations on the Agriculture of Inner Mongolia. Jour. North China Br. Roy. Asia. Soc. 68, 19-26, 1936.
- LATTIMORE, O.: The Mainsprings of Asiatic Migration, in Isaiah Bowman: Limits of Land Settlement, 119-136, New York, 1937.
- TEICHMAN, E.: The Motor Road from Peking to Kalgan. Geogr. Jour., 89, 297-308, 1937.
- LATTIMORE, O.: Origins of the Great Wall of China: A Frontier Concept in Theory and Practice. Geogr. Rev., 27, 529-549, 1937.
- LATTIMORE, O.: The Geographical Factor in Mongol History. Geogr. Jour., 91, 1-20, 1938.
- LATTIMORE, O.: Mongols of the Chinese Border. Geogr. Magazine, 6, 327-344, 1938.
- CABLE, Mildred: A New Era in the Gobi. Geogr. Jour., 100, 193-205, 1942.
- KNOEPFMACHER, H.: Outer Mongolia, a Selection of Reference. Bull. New York Public Library, 48, 791-801, 1944.
- CABLE, M.: Urumchi: Capital of Chinese Turkestan. Geogr. Magazine, 16, 445-451, 1944.
- FAIRBANK, J. K.: Historical Variations in China's Frontiers. Pacific Affairs, 18, 346-354, 1945.
- LATTIMORE, O.: The Outer Mongolian Horizon. Foreign Affairs, 24, 648-660, 1946.
- LATTIMORE, O.: Inner Asian Frontiers: Chinese and Russian Margins of Expansion. Jour. Econ. History, 7, 24-52, 1947.
- MCLEAN, N. L. D.: Sinkiang Today. Intern. Affairs, 24, 377-386, 1948.
- CHANG, Chih-Yi: Land Utilization and Settlement Possibilities in Sinkiang. Geogr. Rev., 39, 57-75, 1949.
- CHIH-YI, M. C.: A Bibliography of Books and Articles on Mongolia. Jour. Roy. Central Asian Soc., 37, 1950.

(4) 雲南・チベット方面

- WARD, F. K.: A Sketch of the Botany and Geography of Tibet. Jour. Linnean Soc. 50, 239-265, 1935.

- HUBBARD, G. D.: Geographic Significance of the Min Valley above Chengtu, West China. Bull. Geogr. Soc. Philadelphia, 33, 76-87, 1935.
- GRABAU, A. W.: Tibet and the Origin of Man. Geogr. Annal., 17, Sven Hedin Hyllningsskrift, 317-325, 1935.
- HEIM, A.: The Glaciation and Solifluction of Minya Gongkar. Geogr. Jour., 87, 444-454, 1936.
- WARD, F. K.: Botanical and Geographical Explorations in Tibet 1935. Geogr. Jour., 88, 385-413, 1936.
- DEEVEY, E. S.: Pollen from Interglacial Beds in the Pang-gong Valley and their Climatic Interpretation. Amer. Jour. Sci., 75, 1937.
- HUBBARD, G. D.: Min River Section between Kuan-hsien and Weichan, Szechwan, China. Bull. Geol. Soc. Amer., 48, 123-151, 1937.
- OESTERHELT, O.: Routenaufnahmen in West-Szetschwan. Die Sifan-Gebirge im chinesisch-westtibetischen Grenzgebiet nach den topographischen Ergebnissen der Stötzner'schen Expedition 1914. Peterm. Mitt. Ergh., 235 (Bd. 52), 1938.
- LU, Alfred: A Brief Survey of the Climate of Lhasa. Quart. Jour. Roy. Meteor. Soc., 45, 297-302, 1939.
- HSU, Gin-Tze: A Note on the Climatic Conditions of Lhasa. Bull. Amer. Meteor. Soc., 22, 68-70, 1941.
- HANSON-LOWE, J.: Notes on the Climate of the South Chinese-Tibetan Borderland. Geogr. Rev., 31, 444-453, 1941.
- RICHARDSON, H. L.: The Ice Age in Western China. Jour. W. China Border Research Soc., 14, Ser. 3, 1-27, 1943.
- GUIBAUT, A.: Explorations in the Upper Tung Basin, Chinese-Tibetan Borderland. Geogr. Rev., 34, 387-404, 1944.
- DEAPER, M.: Geology and Mineral Deposits of Yunnan. Bull. Geol. Survey, China, 36, 1945.
- HU, Huan-Yong: Some Remarks on the Climate of Omeishan. Jour. Meteor., 3, 50-52, 1946.
- HANSON-LOWE, J.: Notes on the Pleistocene Glaciation of the South Chinese-Tibetan Borderland. Geogr. Rev., 37, 70-78, 1947.
- LU, Alfred: Precipitation in the South Chinese-Tibetan Borderland. Geogr. Rev., 37, 88-93, 1947.
- IMHOF, E.: Der Minya Konka. Geogr. Helvetica, 2, 243-255, 1947.
- FLOHN, H.: Zum Klima der Hochgebirge Zentralasiens. Meteor. Rundsch., 1, 95-97, 1947.
- SCHOMBERG, R.: Eastern Ladakh. Scott. Geogr. Mag., 64, 89-92, 1948.
- TATOR, B. A.: Physical Geography of the Kunming Basin, Yunnan Province. Jour. Geogr., 49, 103-113, 1950.

- TATOR, B. A.: Climatic Fluctuation, a Suggested Means for the Development of Lake Terraces, Kunming Basin, China. Amer. Jour. Sci., 88, 498-507, 1950.
- WEIGOLD, H.: Südost-Tibet als Lebensraum. Jahrb. Geogr. Gesell. Hannover, 203-247, 1934 und 1935.
- MASON, K.: The Himalaya as a Barrier to Modern Communications. Geogr. Jour., 87, 1-16, 1936.
- KAULBACK, R.: A Journey in the Salween and Tsangpo Basins, South-Eastern Tibet. Geogr. Jour., 91, 97-122, 1938.
- CHAPMAN, F. S.: Lhasa in 1938. Geogr. Jour., 91, 497-507, 1938.
- SPENCER, J. E.: The Economic Discovery of Southwestern China (Review). Geogr. Rev., 29, 150-151, 1939.
- FITZGERALD, P.: The Yunnan-Burma Road. Geogr. Jour., 95, 161-174, 1940.
- HANSON-Lowe, J.: A Journey along the Chinese-Tibet Border. Geogr. Jour., 95, 357-367, 1940.
- LIN, Y. H.: The Miao-Man Peoples of Kweichow. Harvard Jour. Asiatic Studies, 5, 261-345, 1941.
- CHANG, Yin-Tang: Economic Development along the Yunnan-Burma Railroad. Geography, 27, 1-8. 1942.
- LATTIMORE, O.: Yunnan. Pivot of South East Asia. Foreign Affairs, 21, 476-493, 1942.
- FITZGERALD, C. P.: The Tali District in Western Yunnan. Geogr. Jour., 99, 50-60, 1942.
- CRAW, Sir H.: The Burma Road. Geogr. Jour., 99, 238-246, 1942.
- FITZGERALD, C.P.: The Northern Marches of Yunnan. Geogr. Jour., 102, 49-56, 1943.
- KREBS, N.: Die Wege von Indien nach China. Zeitschr. f. Erdk., 2, 353-366, 1943.
- WARD, F. K.: Tibet as a Grazing Land. Geogr. Jour., 110, 60-75, 1948.
- JEN, Mei-Ngo: Agricultural Landscape of Southwestern China.: A Study in Land Utilization. Econ. Geogr., 24, 154-169, 1948.

